

1. 事業特性の把握 ～大会計画の概要～

1-1 環境を優先する2020年東京大会

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会(以下、「2020年東京大会」という)では、以下の3つの基本目標、11の基本方針のもと、「環境を優先する2020年東京大会」を目指している。

基本目標1：環境負荷の最小化

環境ガイドラインの柱には、カーボンニュートラルな大会を実現するため、再生可能エネルギー、公共交通機関、低エネルギー車両の活用、廃棄物の再生利用の考え方などを据え、エネルギー・資源の消費や二酸化炭素の排出を縮小する。

【基本方針】

1. カーボンニュートラルな大会の実現
2. 環境負荷の少ない交通・運輸システムの構築
3. 廃棄物から資源へ（5Rを進める大会）
4. 大気・騒音・水質等環境への負荷の最小化

基本目標2：自然と共生する都市環境計画

2020年東京大会は、都市の緑化を促進させる契機にもなり、自然環境と共生する快適な都市環境をより楽しめるようになる。

会場設計・施設は、エネルギー・資源・水の保全の観点から持続可能なデザインとする。2020年東京大会の会場及びその周辺は、東京臨海部を中心に緑地と緑の回廊で東京の中心部と結ばれ、そこに息づく多様な生物に特別に配慮する。

【基本方針】

1. 水と緑・生物多様性の都市モデルの形成
2. 水・資源の有効活用
3. 美しい都市景観の形成

基本目標3：スポーツを通じた持続可能な社会づくり

2020年東京大会は、スポーツを通じて地球環境・地域環境の大切さを発信する大会である。

良好な環境は、優れたパフォーマンスを引き出す必要条件である。

一方、スポーツの与える喜び・感動や、模範となるモデルや優れた手本による影響力は、人を具体的な行動へと駆り立てる力を持つ。

したがって、スポーツを通じた持続可能な社会づくりも、2020年東京大会の柱であり、強力かつ重要な指針として、教育・参加・協調などの様々なアプローチ

により推進していく。

【基本方針】

1. 持続可能性マネジメントの実施
2. 技術革新と環境ビジネス育成
3. 環境学習・人材育成
4. 参加・協働・国際貢献の推進

1-2 開催期間

2020 年東京大会の開催期間は、オリンピック競技大会が 2020 年 7 月 24 日～8 月 9 日、パラリンピック競技大会が 2020 年 8 月 25 日～9 月 6 日である。

開催期間

○オリンピック競技大会	2020 年 7 月 24 日～8 月 9 日 (開会式 1 日間、競技期間 16 日)
○パラリンピック競技大会	2020 年 8 月 25 日～9 月 6 日 (開会式 1 日間、競技期間 12 日間)

1-3 会場配置

1-3-1 コンパクトな会場配置

2020 年東京大会の会場配置コンセプトの特徴は、以下のとおりである。

➤ テーマを持った運営上の 2 つのゾーン

大会のコンセプトである「コンパクト」に沿ってその過去と未来が独特な形で融合され、過去の遺産を守りながら、未来に向かって「未来をつかむ (Discover Tomorrow)」ことができる都市であることを世界に示している。会場は 1964 年東京大会のレガシーが残るヘリテッジゾーンと、未来の都市開発モデルである東京ベイゾーンという 2 つのテーマ及び運営ゾーンに位置する。

➤ コンパクトな会場配置コンセプト

東京圏にある 33 の競技会場のうち 28 会場は選手村から半径 8km 圏内にあり、選手のことを最優先に考えた、極めてコンパクトな配置となっている。

➤ オリンピック・レガシーのすばらしさを証明

計画されている 37 の競技会場のうち 15 会場 (41%) は既存のものであり、その中の 2 会場は 2020 年大会のために恒久的な改修が必要となる。既存会場のうち 3 会場は 1964 年大会の時に整備されたものであり、当時水泳とバスケットボールの会場だった国立代々木競技場は 2020 年ではハンドボールの会場に、体操や水球が行われた東京体育館は卓球の会場、日本武道館は 1964 年と同様 2020 年も柔道の会場として利用される。

2020 年大会に向けて建設が予定されている競技会場は、総競技会場数のうち 22 会場 (59%) であり、そのうちの 11 会場は東京のレガシーとして残す計画

である。こうした恒久施設のうち、1964年のオリンピックスタジアムであった国立霞ヶ丘競技場は、テストイベントが行われる。2019年までの完成を予定しており、2020年大会では開・閉会式、陸上競技、サッカー及びラグビーの会場となる。武蔵野の森総合スポーツ施設は、東京西部の多摩地域に2016年の完成を目指しており、2020年大会では近代五種が行われる予定である。

会場の選定、建設状況及び立地は、東京の中長期計画「2020年の東京」を中心に、社会、開発、持続可能性に関わる東京都の計画に合わせるとともに、2020年東京大会を選手重視のコンパクトな大会にすることを目指す。

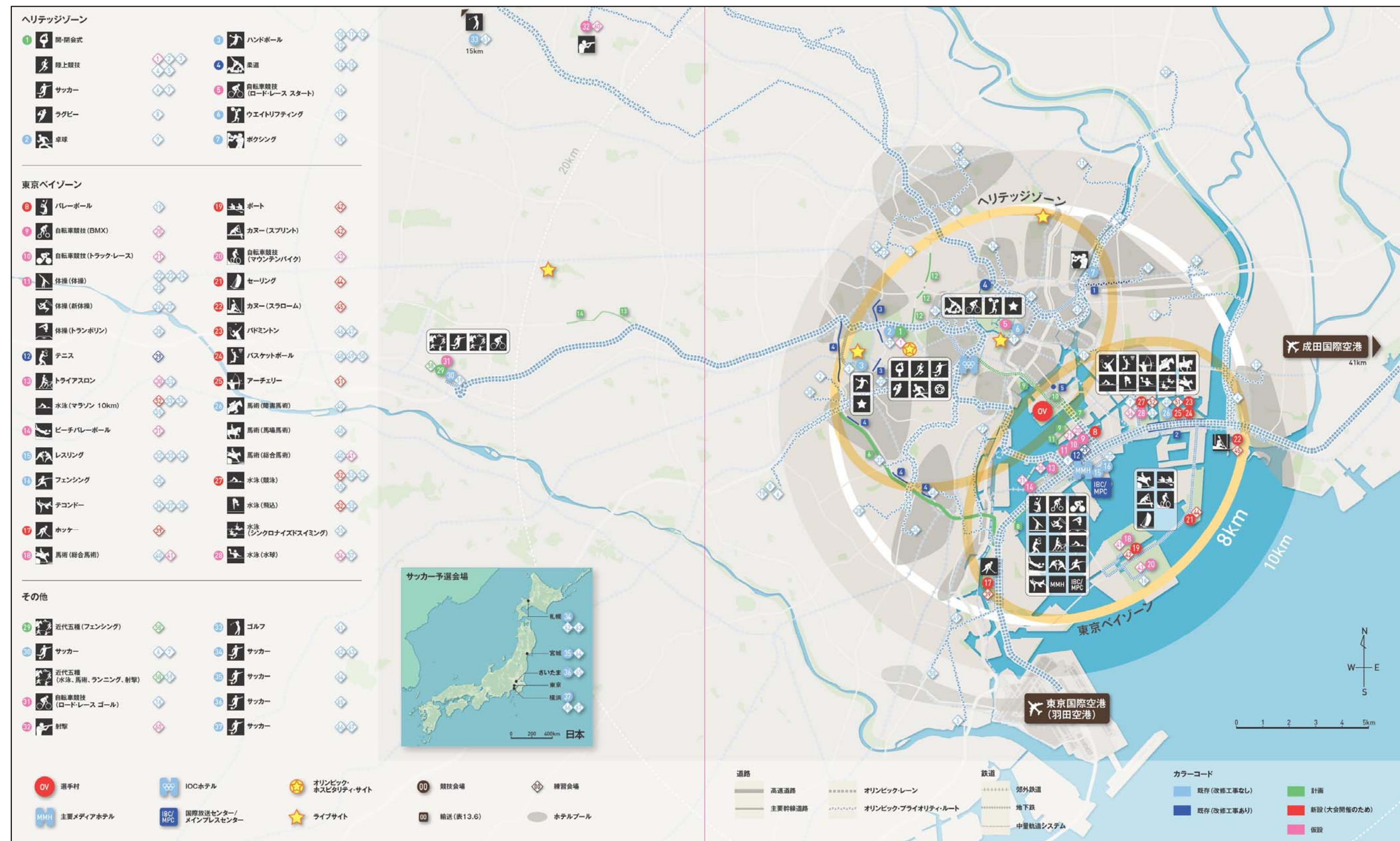


図 1-3-1 会場位置図

1-3-2 会場の概要

(1) ヘリテッジゾーン

ヘリテッジゾーンには、1964年大会の会場となった国立代々木競技場、東京体育館及び日本武道館を含め、計7つの競技会場が位置する。

【イメージ図】



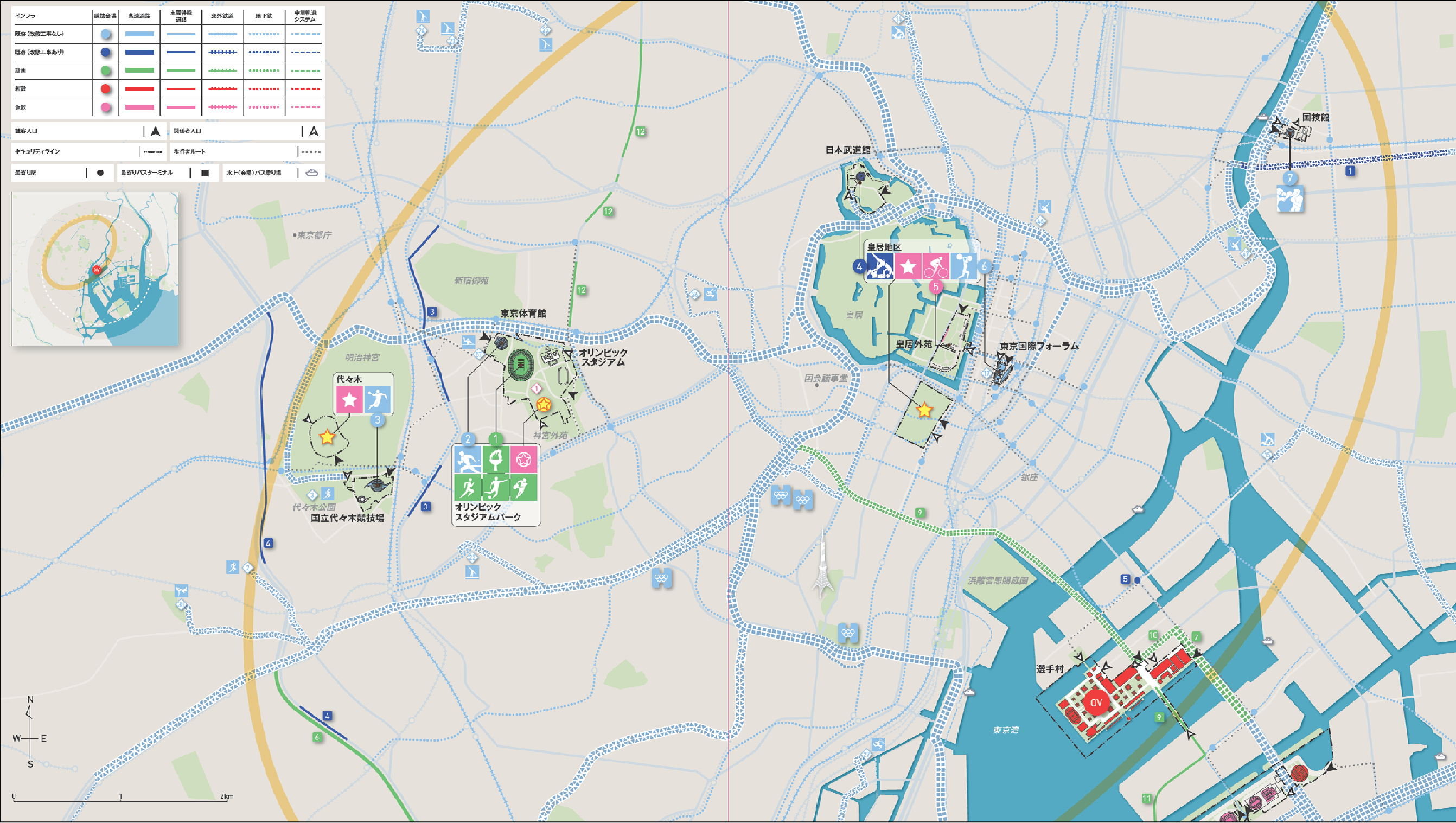


図 1-3-2 会場の概要(ヘリテッジゾーン)

① オリンピックスタジアム

1964 年大会のオリンピックスタジアムであり、2019 年迄に最新鋭の競技場に生まれ変わる予定である。2020 年大会では、開・閉会式、陸上競技、サッカー、ラグビーの会場となる。この 8 万人収容のスタジアムは日本スポーツ振興センターが所有し、2019 年のラグビーワールドカップをはじめ、サッカーの国際試合や陸上競技の日本選手権など文化・スポーツ関連イベントに使用される予定である。神宮エリア内に位置し、4 大クラスターの一つとして「2020 年の東京」をもとに誰もがスポーツを楽しめる社会づくりを目指す。

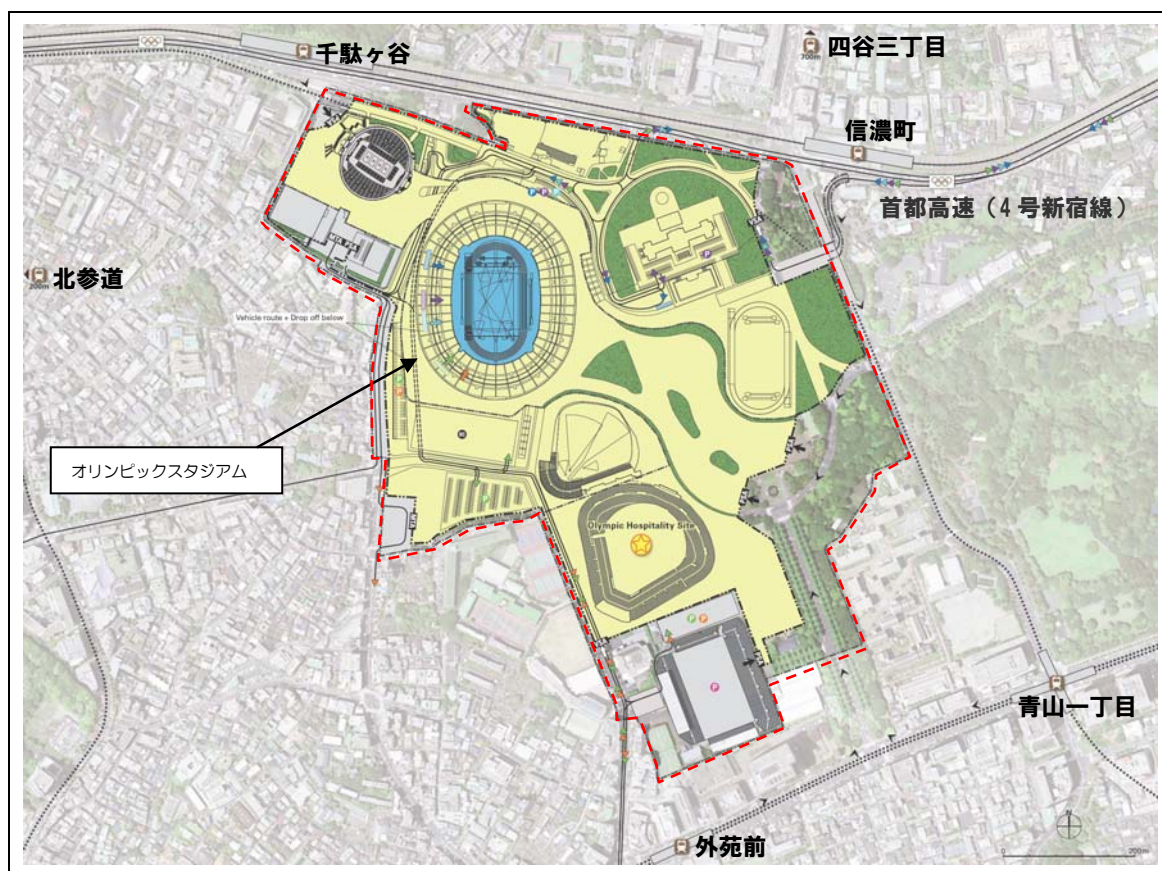
表 1-3-1 会場の概要（オリンピックスタジアム）

項目	内容
競技	オリンピック：開・閉会式、陸上競技、サッカー(決勝)、ラグビー
	パラリンピック：開・閉会式、陸上競技
会場計画の概要	新設恒久会場(計画中)
	総座席数: 80,000 席
	大会後の利用: 多目的スタジアム

【イメージ図】



修正点：パース図に説明を追記



【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-3 会場配置図：オリンピックスタジアム

② 東京体育館

東京体育館は、1964 年大会における体操と水球の会場であり、2020 年大会では卓球の会場となる。

表 1-3-2 会場の概要（東京体育館）

項目	内容
競技	オリンピック：卓球
	パラリンピック：卓球
会場計画の概要	既存会場（改修なし）
	総座席数: 8,000 席
	大会後の利用: スポーツアリーナ

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-4 会場配置図：東京体育館

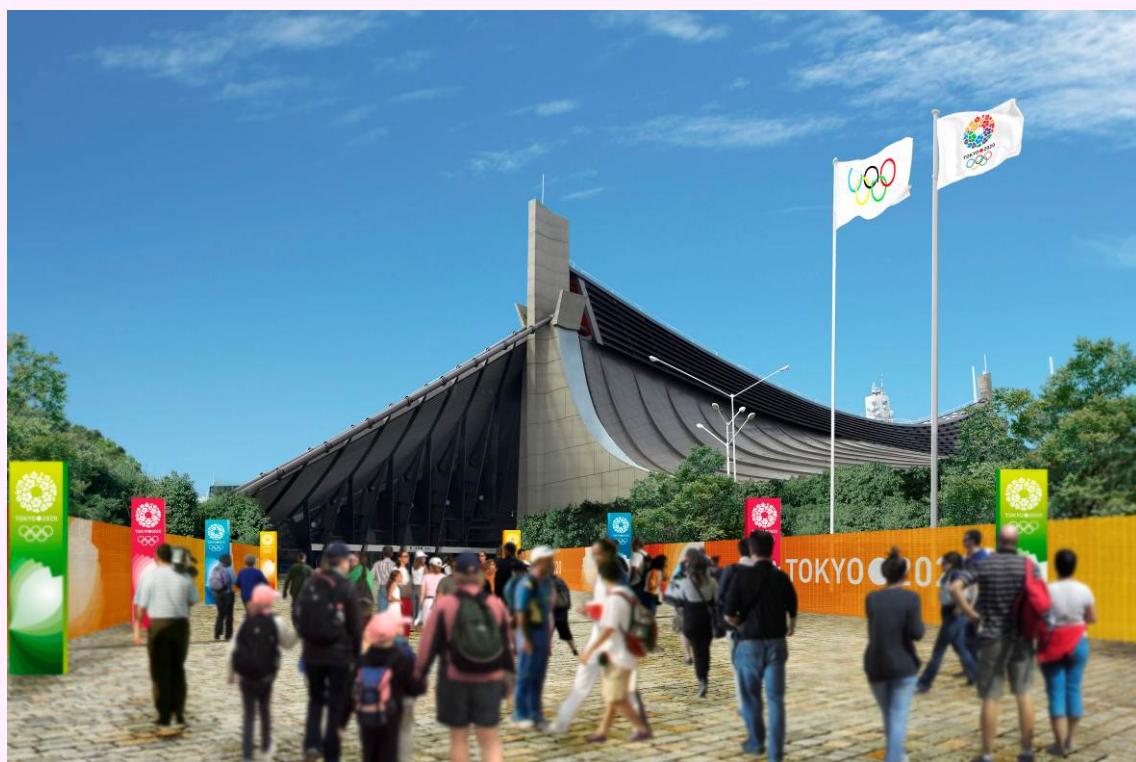
③ 国立代々木競技場

国立代々木競技場は、1964 年大会の競泳とバスケットボールの会場であり、2020 年大会ではハンドボールの会場となる。

表 1-3-3 会場の概要（国立代々木競技場）

項目	内容
競技	オリンピック：ハンドボール
	パラリンピック：ウィルチェアーラグビー
会場の概要	既存会場（改修なし）
	総座席数: 12,000 席
	大会後の利用: スポーツアリーナ

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-5 会場配置図：国立代代木競技場

④ 日本武道館

日本武道館は、1964 年大会の柔道の会場であり、2020 年大会でも柔道の会場となる。

表 1-3-4 会場の概要（日本武道館）

項目	内容
競技	オリンピック：柔道
	パラリンピック：柔道
会場計画の概要	既存会場（改修あり）
	総座席数: 11,000 席
	大会後の利用: 武道場

【イメージ図】





図 1-3-6 会場配置図：日本武道館

⑤ 皇居外苑

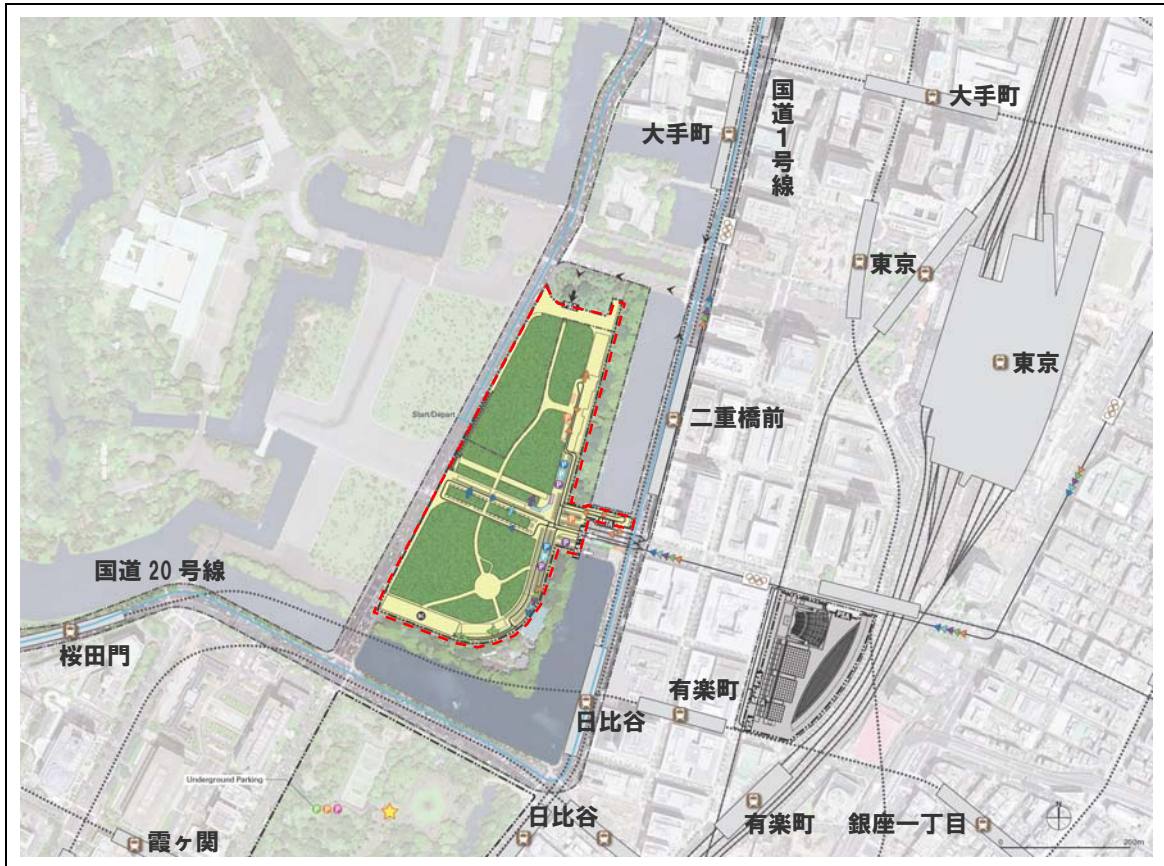
皇居外苑は、自転車競技（ロード・レース）のスタート地点となる。また、観光地として人気があるだけでなく、都民の憩いの場としても親しまれている。

表 1-3-5 会場の概要（皇居外苑）

項目	内容
競技	オリンピック：自転車競技（ロード・レース:スタート）
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	仮設
	総座席数: 1,000 席
	大会後の利用: 公共公園

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-7 会場配置図：皇居外苑

⑥ 東京国際フォーラム

ウェイトリフティングが行われる東京国際フォーラムは、東京の中心部に位置し、日本を代表するビジネス街である丸の内と大手町に囲まれている。

表 1-3-6 会場の概要（東京国際フォーラム）

項目	内容
競技	オリンピック: ウェイトリフティング
	パラリンピック: なし
会場計画の概要	既存会場（改修なし）
	総座席数: 5,000 席
	大会後の利用: 多目的会議場

【イメージ図】





【凡例】			
競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VISA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-8 会場配置図：東京国際フォーラム

⑦ 国技館

日本の国技である相撲の聖地である国技館は、ボクシングにとって理想的なすり鉢状の会場であり、観客は四方から競技を観戦することができる。

表 1-3-7 会場の概要（国技館）

項目	内容
競技	オリンピック：ボクシング
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	既存会場（改修なし）
	総座席数: 10,000 席
	大会後の利用: 相撲場

【イメージ図】





【凡例】			
競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-9 会場配置図：国技館

(2) 東京ベイゾーン

東京ベイゾーンは、東京湾の臨海部に位置している。水と緑、生物多様性の拠点として開発される予定の場所であり、東京の未来への発展を力強く感じさせるゾーンである。東京ベイゾーンには、計30の競技が行われる21の競技会場があるほか、IBC/MPCが設置される。IBC/MPCは、日本最大の国際会議・展示施設である東京ビッグサイトに置かれる。なお、主要なメディアホテルおよび7つの競技会場がIBC/MPCから徒歩可能な範囲内にあり、東京圏にある全33会場中残りの21会場は半径10km以内に位置する。

【イメージ図】





図 1-3-10 会場の概要 (バイゾーン)

① 有明アリーナ

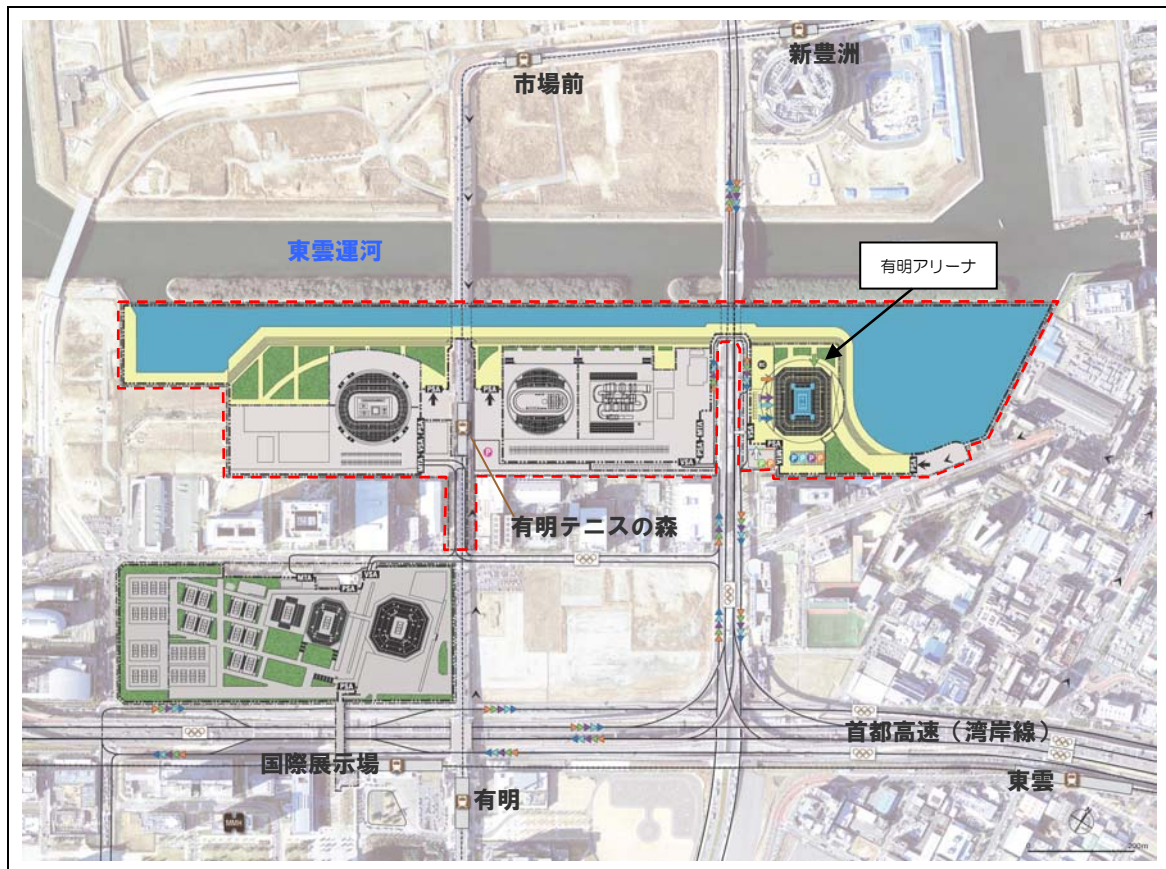
バレーボールの会場となり、大会後は、様々な室内競技大会やイベントを行うことができる大規模体育館となる。大会後は、注目を集めるバレーボールの国内リーグの会場となるほか、東京が、これまで多数開催してきたような、国際大会の際も使用される。東京都が所有するこのアリーナは、「2020 年の東京」で臨海部の一部に含まれ、そのエリア内に有明テニスの森、オリンピックアクアティクスセンターに隣接する東京辰巳国際水泳場がある。会場の整備は臨海部の開発と並行して行われる。

表 1-3-8 会場の概要（有明アリーナ）

項目	内容
競技	オリンピック：バレーボール（インドア）
	パラリンピック：シッティングバレーボール
会場計画の概要	新設恒久会場
	総座席数: 15,000 席
	大会後の利用: 多目的アリーナ

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-11 会場配置図：有明アリーナ

② 有明BMXコース

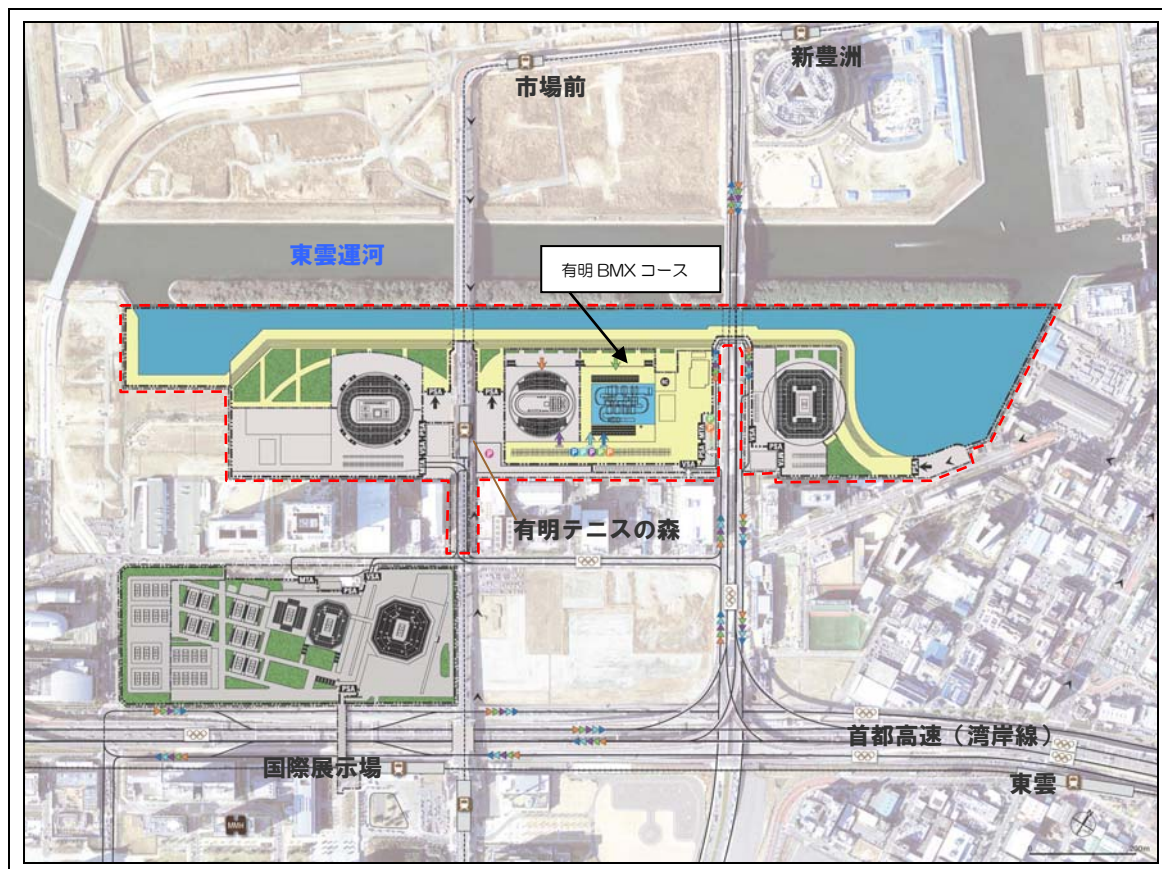
有明BMXコースは、新設(仮設)の会場であり、自転車競技（BMX）に使用される。

表 1-3-9 会場の概要（有明BMXコース）

項目	内容
競技	オリンピック：自転車競技（BMX）
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	仮設
	総座席数: 5,000 席
	大会後の利用: 開発用地

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上（海上）バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-12 会場配置図：有明 BMX コース

③ 有明ベロドローム

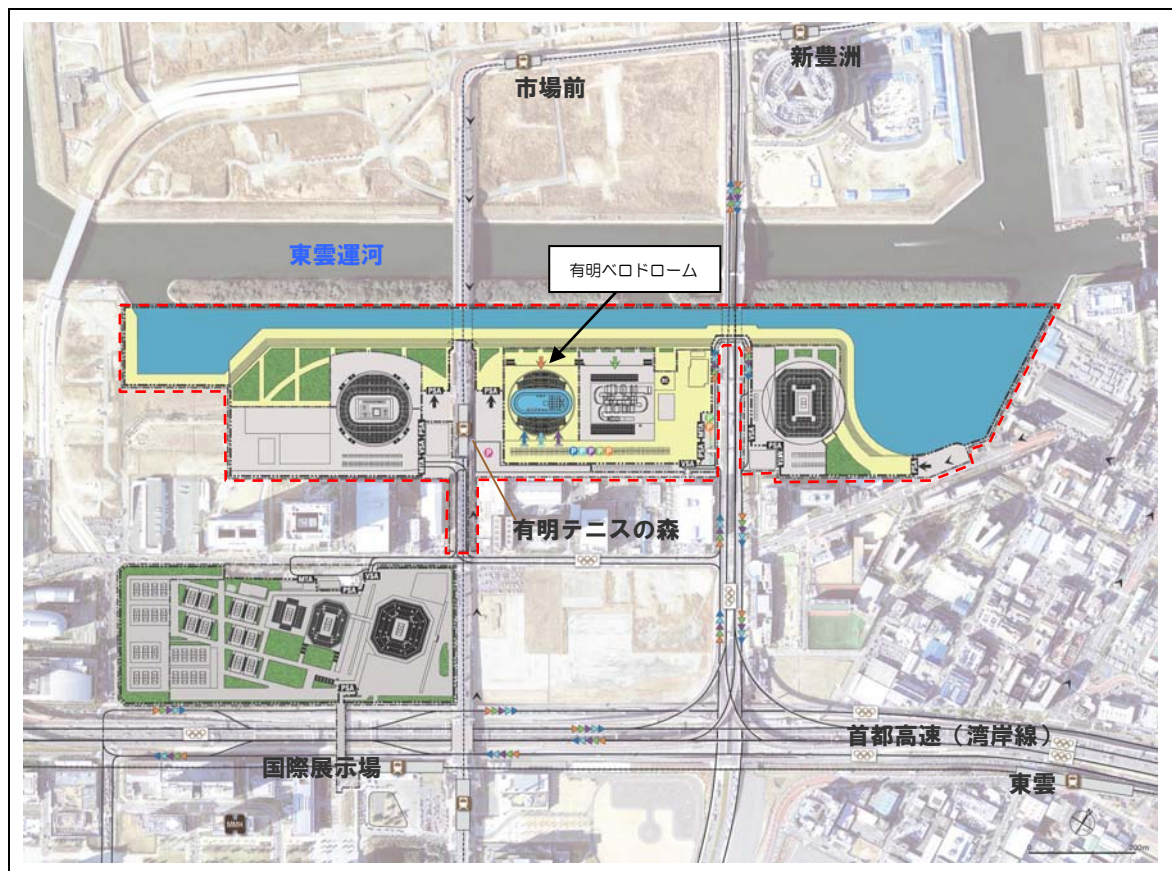
有明ベロドロームは、新設(仮設)の会場であり、自転車競技(トラックレース)に使用される。

表 1-3-10 会場の概要 (有明ベロドローム)

項目	内容
競技	オリンピック: 自転車競技 (トラック・レース)
	パラリンピック: 自転車競技 (トラック・レース)
会場計画の概要	仮設
	総座席数: 5,000 席
	大会後の利用: 開発用地

【イメージ図】





【凡例】			
競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-13 会場配置図：有明ペロドローム

④ 有明体操競技場

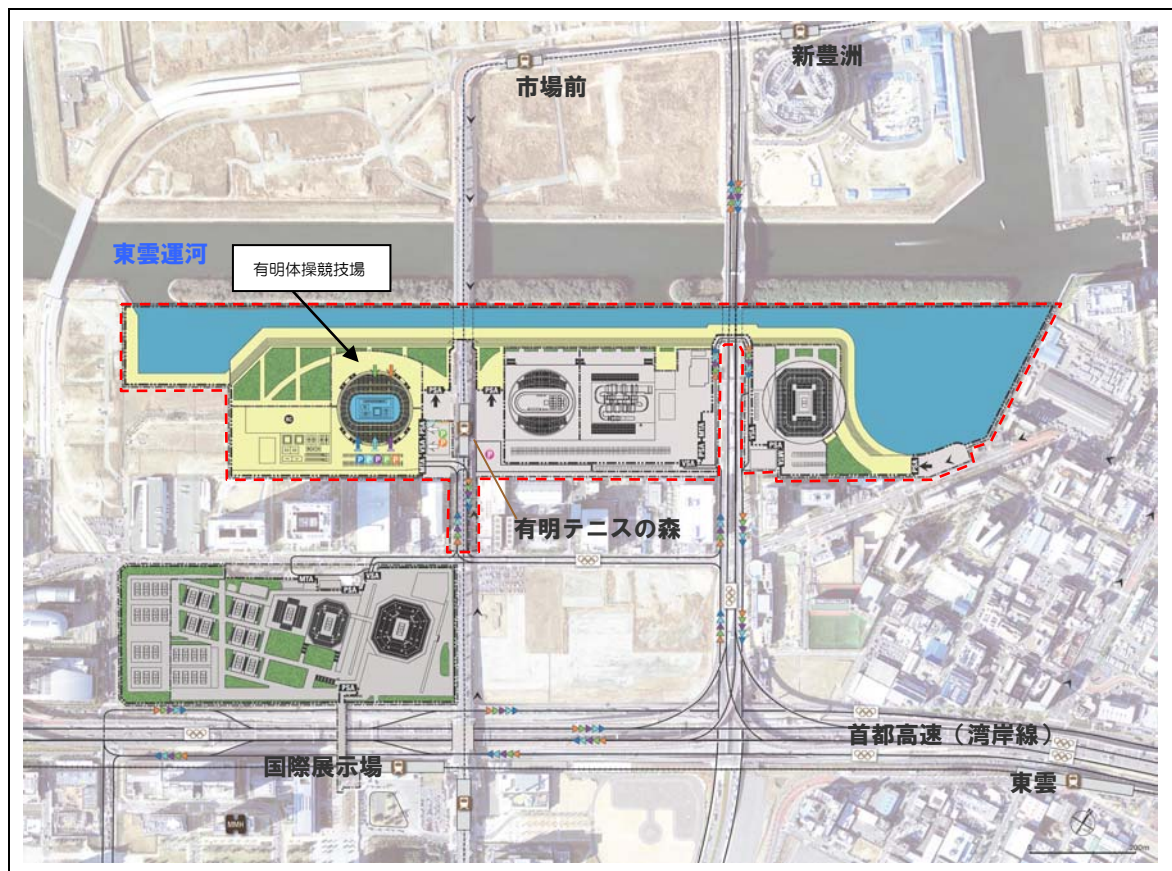
有明体操競技場は、新設(仮設)の会場であり、体操競技に使用される。

表 1-3-11 会場の概要 (有明体操競技場)

項目	内容
競技	オリンピック: 体操(体操、新体操、トランポリン)
	パラリンピック: ゴールボール
会場計画の概要	仮設
	総座席数: 12,000 席
	大会後の利用: 開発用地

【イメージ図】





【凡例】			
 競技フィールド	 車両動線*	 ライブサイト	*クライアントグループカラー
 恒久施設 及び 仮設施設	 乗降場所*	 最寄り駅	 選手及びチーム役員
 放送コンパウンド	 VSA 車両検査エリア	 最寄りバスターミナル	 IF 及び技術役員
 観客エリア歩行者入口	 PSA 歩行者検査エリア	 関係者駐車場*	 IOC
 観客エリア歩行者動線	 MTA 資材運搬エリア	 スポンサーバス駐車場	 メディア
 関係者エリア歩行者入口*	 セキュリティライン	 水上(海上)バス乗り場	 運営及びスタッフ
 O オリンピックネットワーク	 運営境界	 会場エリア	

図 1-3-14 会場配置図：有明体操競技場

⑤ 有明テニスの森

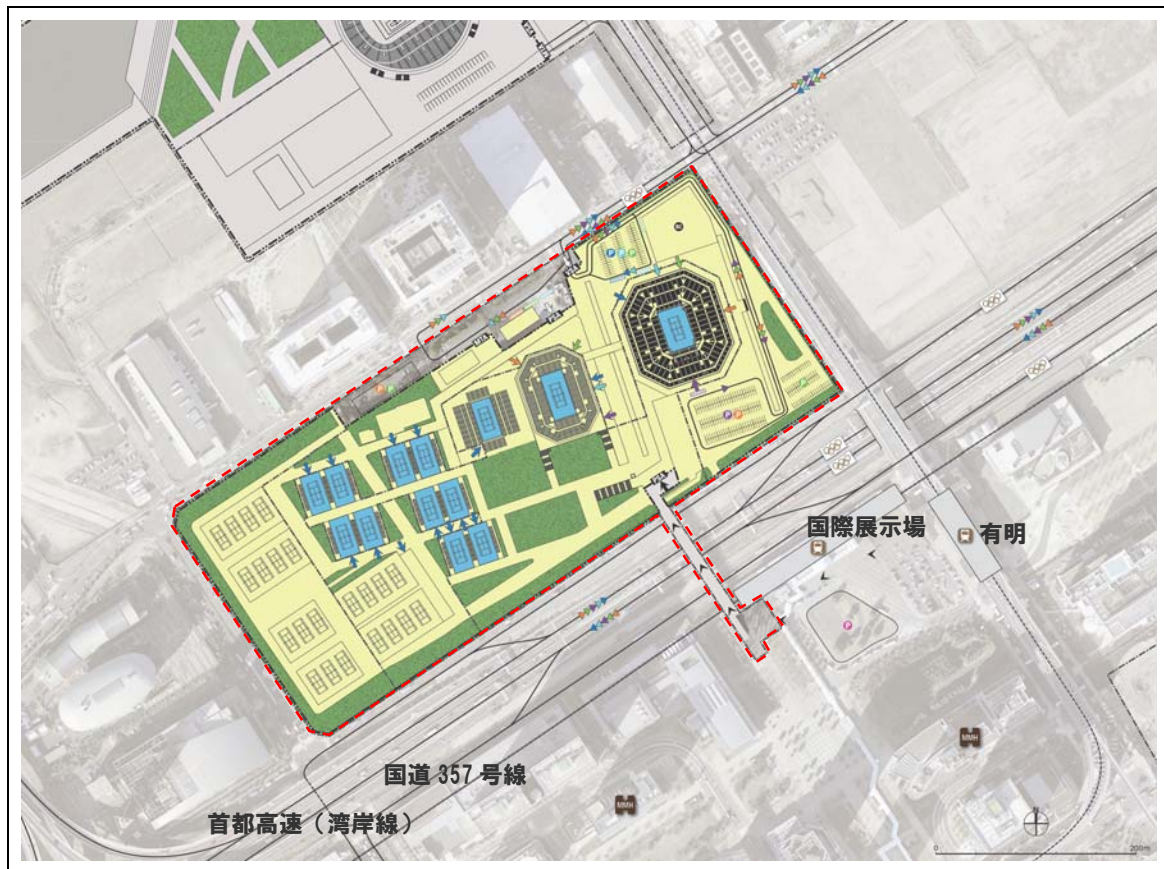
有明テニスの森は、全天候型コートとスライド式開閉屋根を備えた1万人を収容できる多目的スタジアム（有明コロシアム）を有しており、テニス競技が行われる。

表 1-3-12 会場の概要（有明テニスの森）

項目	内容
競技	オリンピック：テニス
	パラリンピック：車いすテニス
会場計画の概要	既存会場（改修あり）
	総座席数: 20,500 席
	大会後の利用: テニス場

【イメージ図】





【凡例】			
競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VISA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-15 会場配置図：有明テニスの森

⑥ お台場海浜公園

お台場海浜公園は、新設(仮設)の会場であり、トライアスロン及び水泳（マラソン 10km）が行われる。

表 1-3-13 会場の概要（お台場海浜公園）

項目	内容
競技	オリンピック：トライアスロン、水泳（マラソン 10km）
	パラリンピック：自転車競技（ロード・レース）、パラトライアスロン
会場計画の概要	仮設
	総座席数: 10,000 席
	大会後の利用: 公共公園

【イメージ図】





【凡例】			
競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-16 会場配置図：お台場海浜公園

⑦ 潮風公園

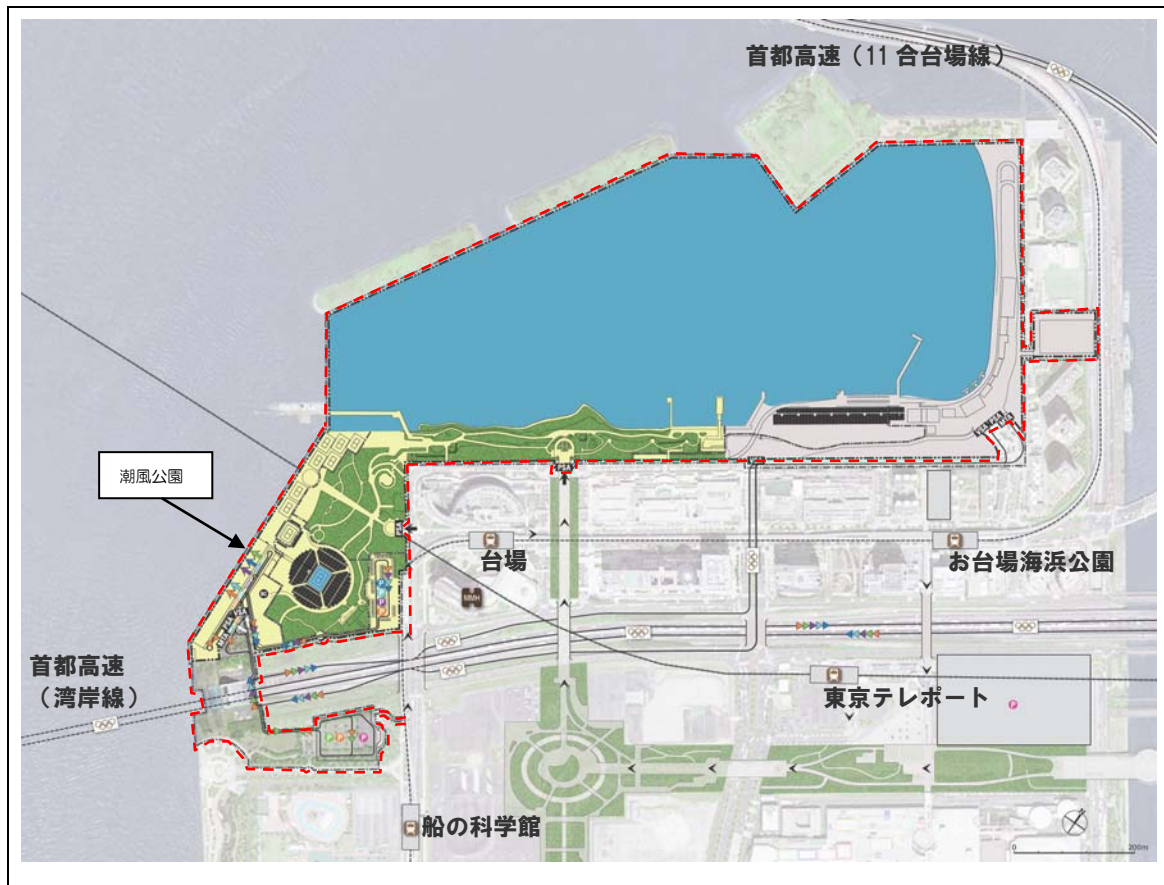
潮風公園は、臨海副都心最大の公園で、バレーボール（ビーチバレーボール）競技が行われる。

表 1-3-14 会場の概要（潮風公園）

項目	内容
競技	オリンピック：ビーチバレーボール
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	仮設
	総座席数: 12,000 席
	大会後の利用: 公共公園

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-17 会場配置図：潮風公園

⑧ 東京ビッグサイト

東京ビッグサイトは、日本最大の国際会議・展示施設であり、ホールAでレスリング競技、ホールBではフェンシング及びテコンドーが行われる。

表 1-3-15 会場の概要（東京ビッグサイト）

項目	内容
競技	オリンピック：レスリング、フェンシング、テコンドー
	パラリンピック：パワーリフティング、ボッチャ
会場計画の概要	既存会場（改修なし）
	総座席数: 18,000 席
	大会後の利用: 国際会議・展示施設

【イメージ図】





【凡例】			
競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-18 会場配置図：東京ビッグサイト・ホールA



【凡例】			
競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-19 会場配置図：東京ビッグサイト・ホールB

⑨ 大井ホッケー競技場

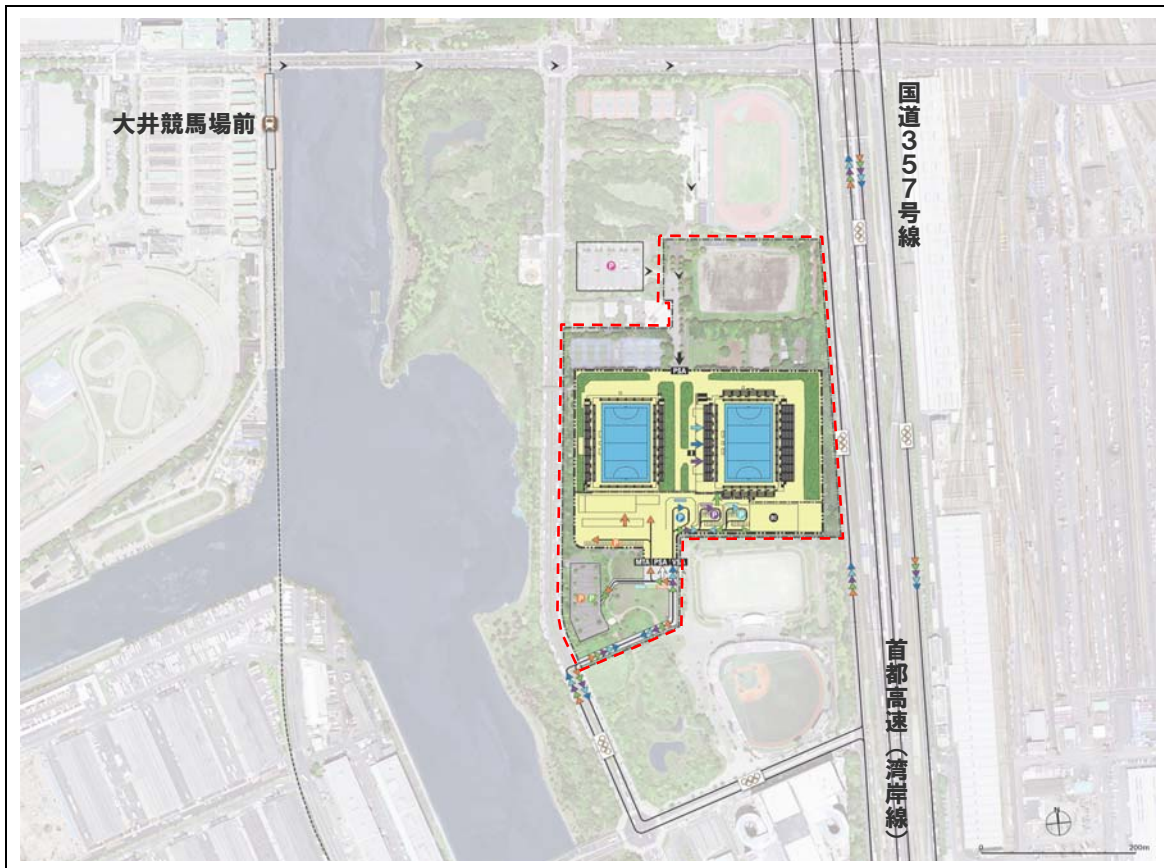
大井ふ頭中央海浜公園に新設予定であり、大会後は、4000 人規模のホッケー場に改修される。大会後は、東京都が所有し、国内及び国際競技大会が開催できるホッケー場として、国内のホッケー普及、強化の拠点となる。

表 1-3-16 会場の概要（大井ホッケー競技場）

項目	内容
競技	オリンピック：ホッケー
	パラリンピック：視覚障害者 5 人制サッカー、脳性麻痺者 7 人制サッカー
会場計画の概要	新設恒久会場
	総座席数: 15,000 席
	大会後の利用: スポーツセンター

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-20 会場配置図：大井ホッケー競技場

⑩ 海の森クロスカントリーコース

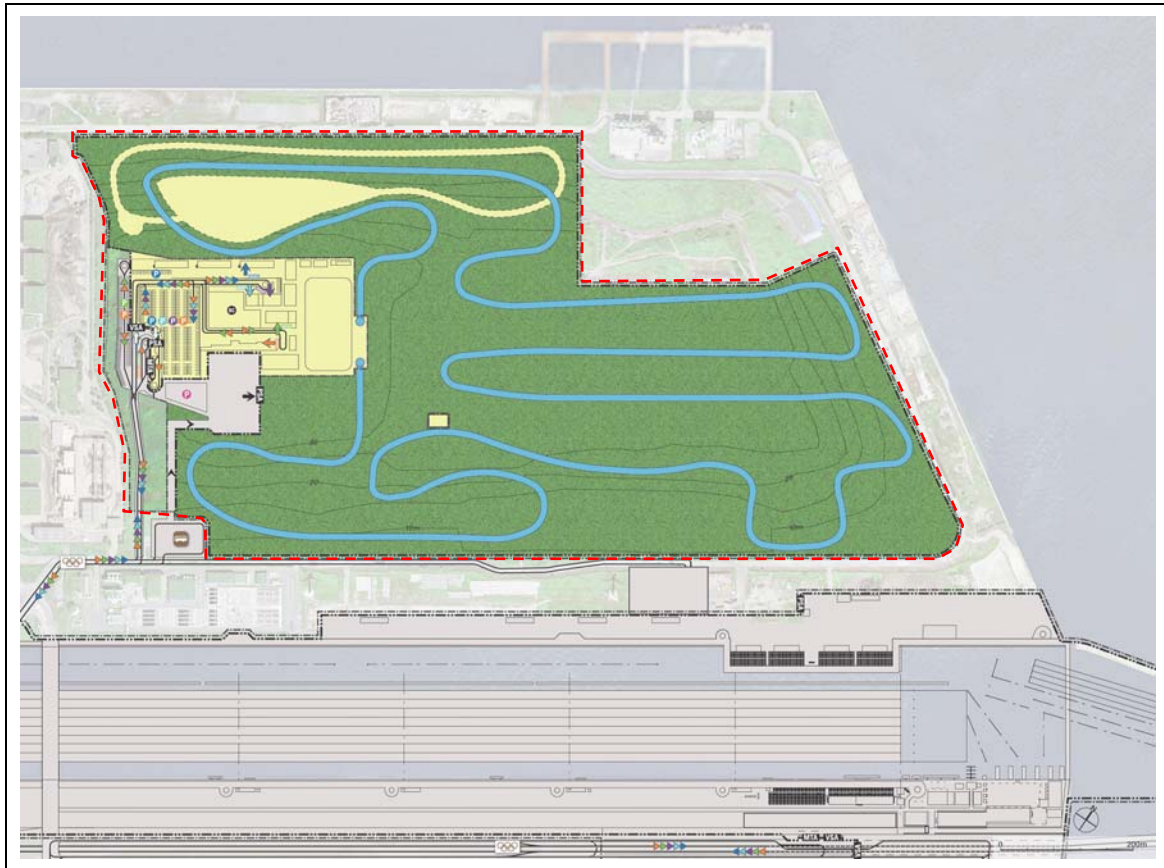
海の森クロスカントリーコースは、新設(仮設)の会場であり、馬術(クロスカントリー)が行われる。

表 1-3-17 会場の概要 (海の森クロスカントリーコース)

項目	内容
競技	オリンピック: 馬術(クロスカントリー)
	パラリンピック: なし
会場計画の概要	仮設
	総座席数: 20,000 人(立見席)
	大会後の利用: 公共公園

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-21 会場配置図：海の森クロスカントリーコース

⑪ 海の森水上競技場

海の森水上競技場は、ボート、カヌー（スプリント）の会場となり、将来、都民のレクリエーションの場、憩いの場にもなる。大会後は、東京都が所有する。東京ゲートブリッジが新設され、水辺の空間として都民に親しまれる場となる。2016 年までに概成予定の海の森は、東京都が掲げる持続可能な緑化活動のシンボルである。

表 1-3-18 会場の概要（海の森水上競技場）

項目	内容
競技	オリンピック：ボート、カヌー（スプリント）
	パラリンピック：ボート、カヌー
会場計画の概要	新設恒久会場
	総座席数: 24,000 席(うち、立見席 10,000 席)
	大会後の利用: ボート、カヌー場

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-22 会場配置図：海の森水上競技場

⑫ 海の森マウンテンバイクコース

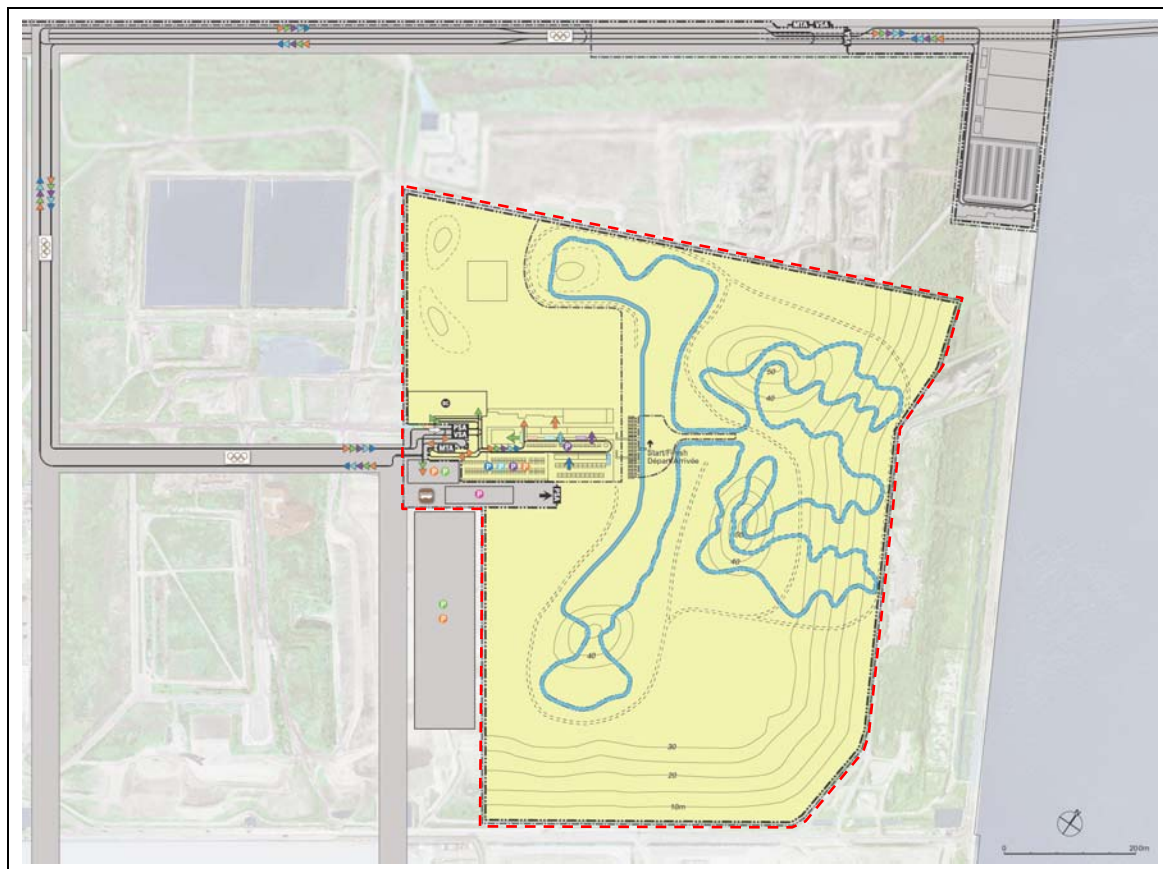
海の森マウンテンバイクコースは、新設(仮設)の会場であり、自転車競技（マウンテンバイク）が行われる。

表 1-3-19 会場の概要（海の森マウンテンバイクコース）

項目	内容
競技	オリンピック：自転車競技（マウンテンバイク）
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	仮設
	総座席数: 25,000 席(うち、立見席 23,000 席)
	大会後の利用: 開発用地

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-23 会場配置図：海の森マウンテンバイクコース

⑬ 若洲オリンピックマリーナ

日本有数のセーリング会場となる。大会後は、東京都が所有し、東京のみならず首都圏広域のセーリング競技の普及の拠点となる。

表 1-3-20 会場の概要（若洲オリンピックマリーナ）

項目	内容
競技	オリンピック：セーリング
	パラリンピック：セーリング
会場計画の概要	新設恒久会場
	総座席数: 5,000 席(うち、立見席 3,000 席)
	大会後の利用: マリーナ
【イメージ図】	
	



【凡例】			
競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-24 会場配置図：若洲オリンピックマリーナ

⑭ 葛西臨海公園

カヌー（スラローム）の会場となり、大会後には、カヌー競技のほか、ラフティングなどのレクリエーションにも使える施設が残る。東京都が所有し、広く地域の人々が、水辺に親しめる施設となる。

表 1-3-21 会場の概要（葛西臨海公園）

項目	内容
競技	オリンピック：カヌー（スラローム）
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	新設恒久会場
	総座席数: 15,000 席(うち、立見席 3,000 席)
	大会後の利用: カヌー場

【イメージ図】





【凡例】			
競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上（海上）バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-25 会場配置図：葛西臨海公園

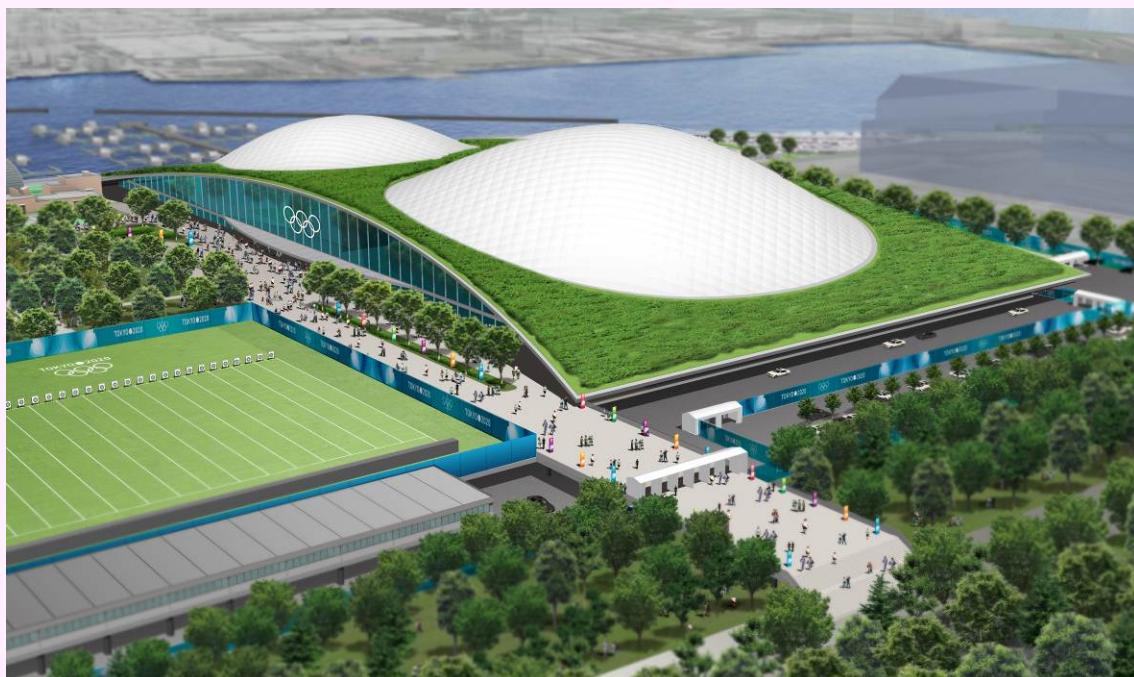
⑮ 夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B

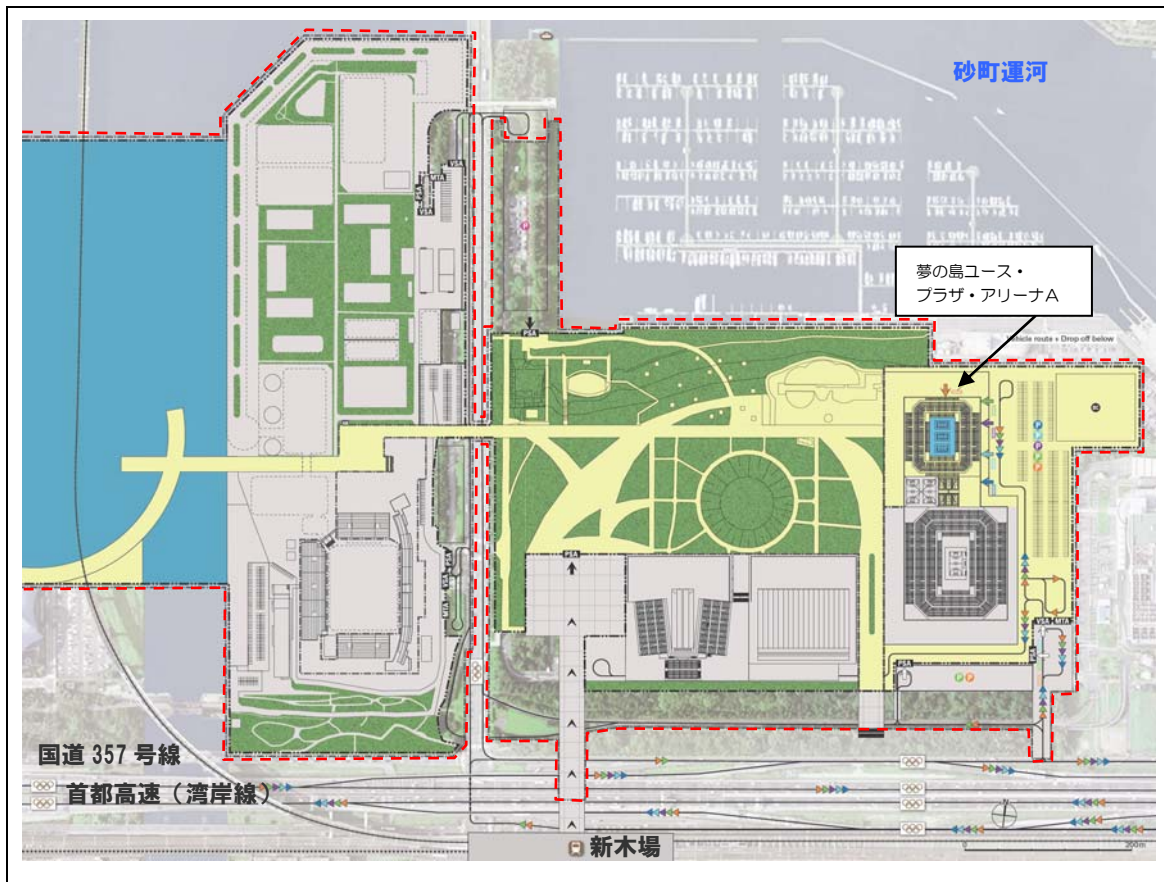
地域レベルの競技大会が行われる小規模な現ユースプラザを改修し、バドミントンとバスケットボールの会場となる。大会後は、東京都が所有し、様々な室内競技大会やイベントを行うことができる大規模総合体育館となる。大規模アリーナを二つ有する施設の特性を活かし、人気の高まっているバスケットボール、バドミントンなど室内競技の国内・国際大会も開催可能となる。また東京湾エリアの開発に合わせた臨海部に連なる競技会場の一部となる。

表 1-3-22 会場の概要（夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B）

項目	内容
競技	オリンピック：バドミントン、バスケットボール
	パラリンピック：車椅子バスケットボール、車いすフェンシング
会場計画の概要	新設恒久会場
	総座席数: 25,000 席
	大会後の利用: 多目的アリーナ

【イメージ図】

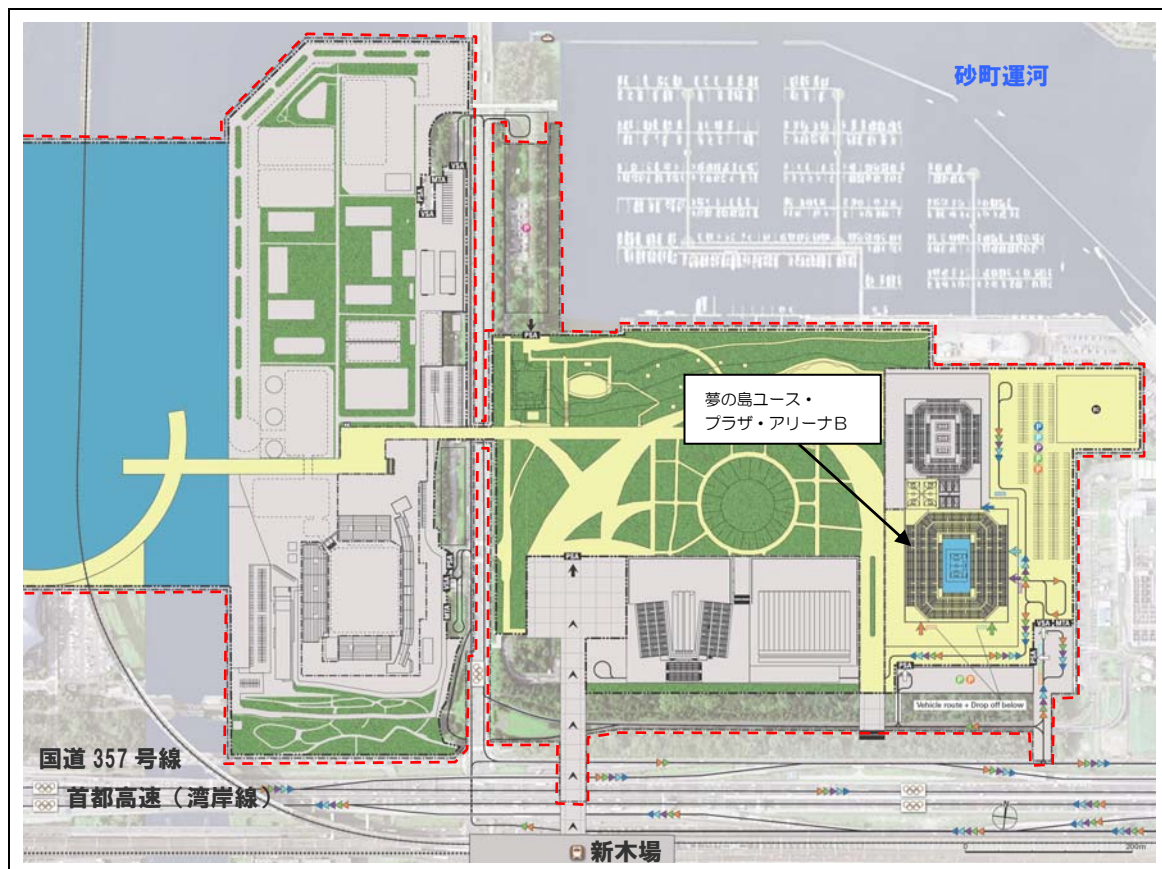




【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-26 会場配置図：夢の島ユース・プラザ・アリーナA



【凡例】			
競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-27 会場配置図：夢の島コース・プラザ・アリーナB

⑩ 夢の島公園

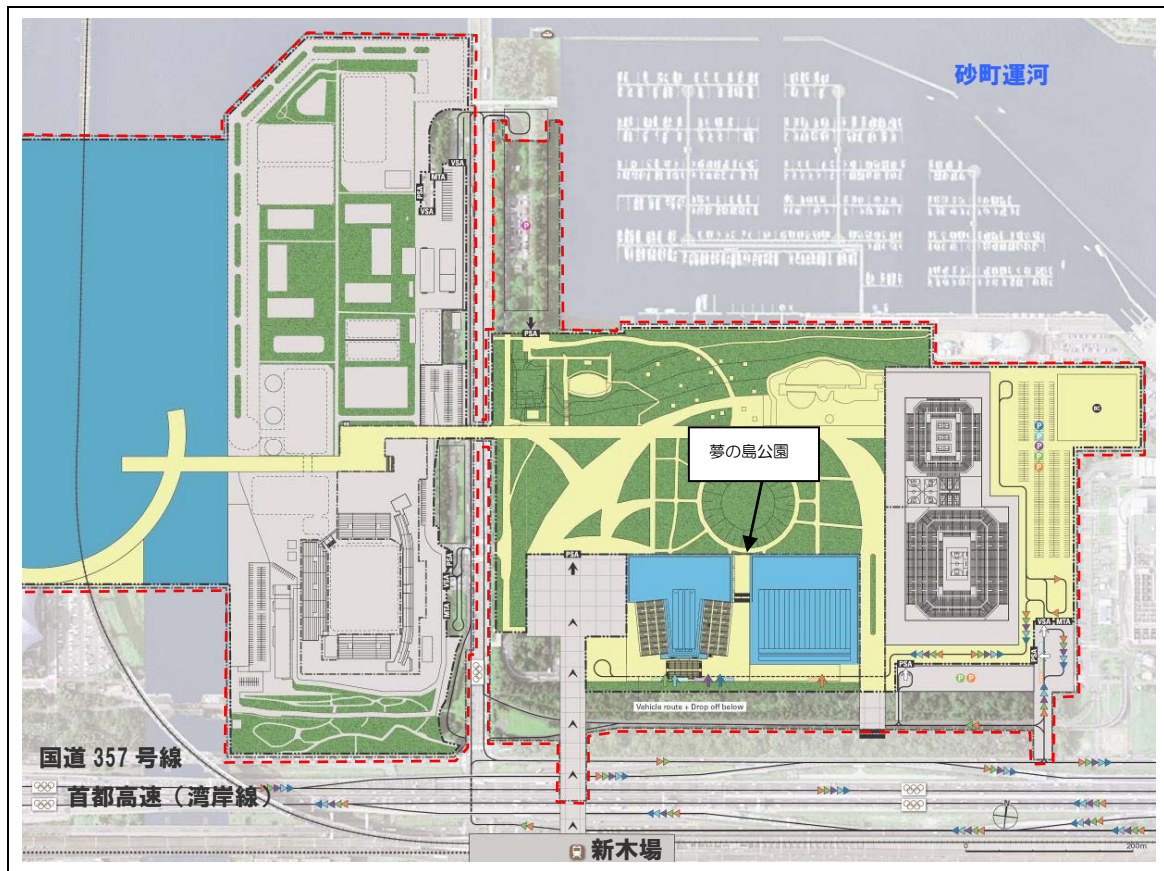
夢の島公園は、アーチェリーの会場となり、大会後には、周辺の緑地を取り込み、国内及び国際競技大会が開催できるアーチェリー場が残る。大会後は、東京都が所有し、学生選手権、日本選手権などの会場となるほか、都内のアーチャーの日常的な活動拠点となる。レガシーとなる会場の一つであり、臨海部に連なる競技会場の一角を占めている。

表 1-3-23 会場の概要（夢の島公園）

項目	内容
競技	オリンピック：アーチェリー
	パラリンピック：アーチェリー
会場計画の概要	新設恒久会場
	総座席数: 7,000 席
	大会後の利用: アーチェリー場

【イメージ図】





【凡例】			
競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	P 関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	P スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-28 会場配置図：夢の島公園

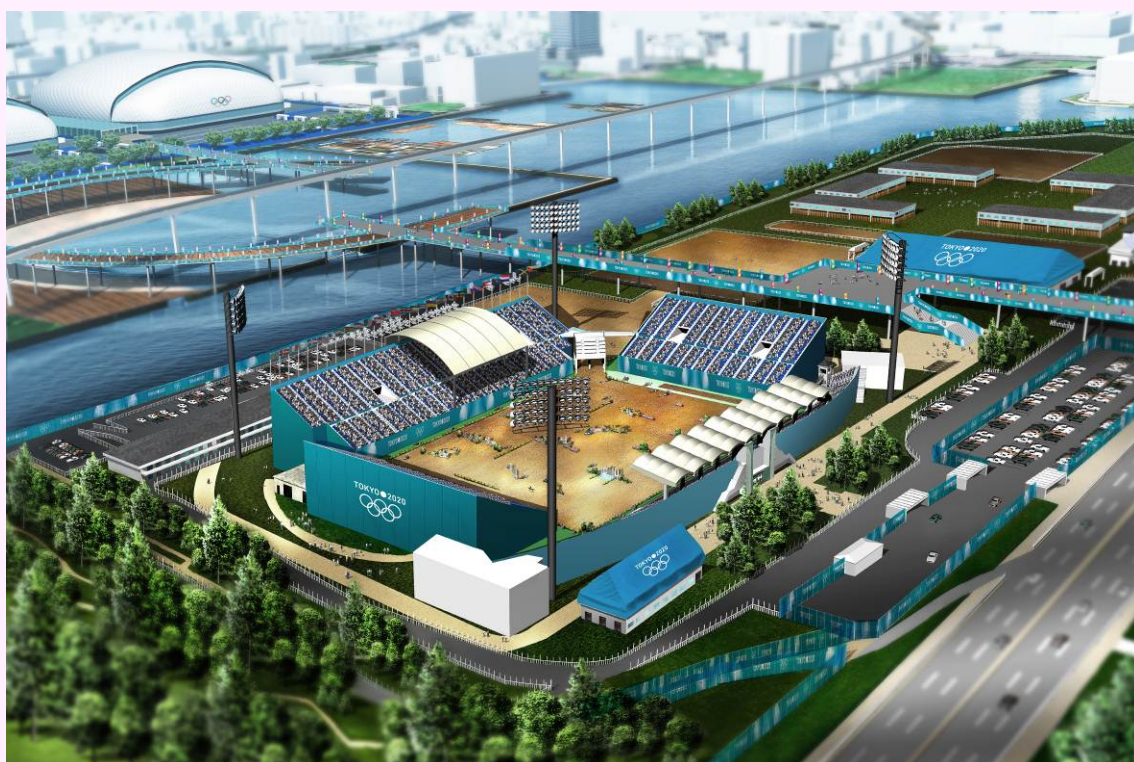
⑰ 夢の島競技場

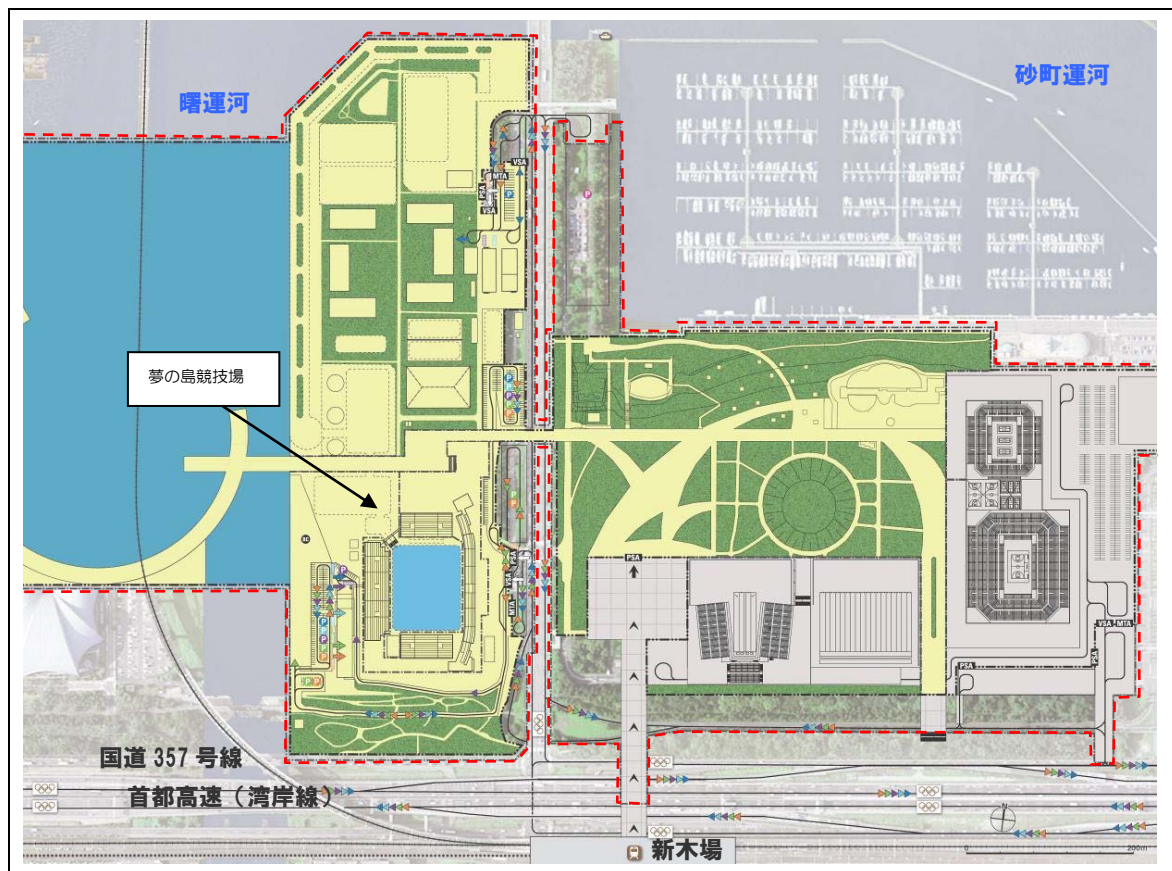
夢の島競技場は、馬術（障害馬術、馬場馬術、総合馬術）が行われ、大会終了後は、大会前と同様、地域住民の多目的スポーツの拠点として活用される。

表 1-3-24 会場の概要（夢の島競技場）

項目	内容
競技	オリンピック：馬術（競技馬術、障害馬術）
	パラリンピック：馬術
会場計画の概要	既存会場（改修なし）
	総座席数: 14,000 席
	大会後の利用: スポーツセンター

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-29 会場配置図：夢の島競技場

⑱ オリンピックアクアティクスセンター、ウォーターポロアリーナ

水泳の会場となり、大会後は、国際競技大会が開催でき、住民も使える水泳場となる。

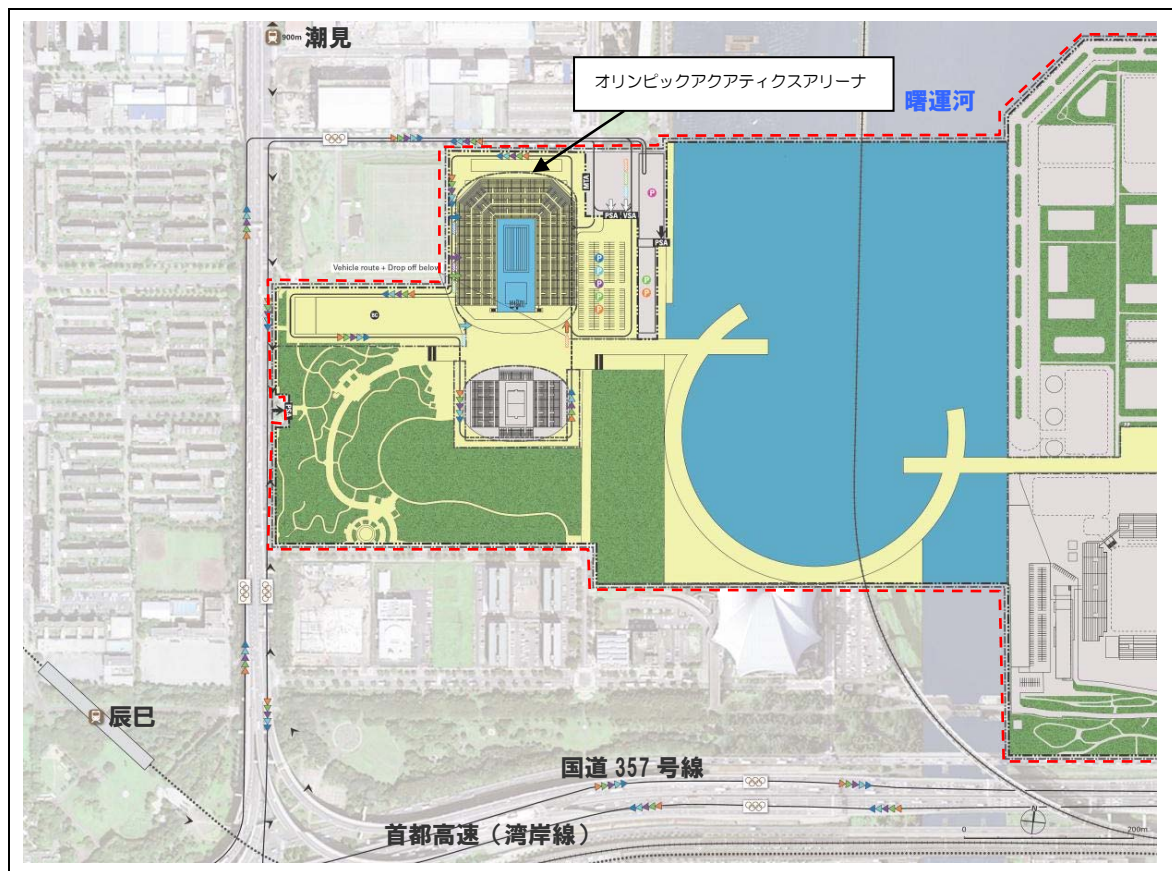
オリンピックアクアティクスセンターは、大会後は、収容可能人数を2万人から5000人に縮小して、利用しやすい規模の水泳場に改修する。大会後は、東京都が所有し、既存の辰巳国際水泳場同様、水泳各種別の都内選手権、日本選手権からジャパンオープン等の国際大会で使用するとともに、住民も使える水泳場となる。

表 1-3-25 会場の概要（オリンピックアクアティクスセンター、ウォーターポロアリーナ）

項目	内容
競技	オリンピック：水泳（競泳、飛込、水球、シンクロナイズドスイミング）
	パラリンピック：水泳
会場計画の概要	新設恒久会場（ウォーターポロアリーナ：仮設）
	総座席数: 26,500 席
	大会後の利用: 水泳場

【イメージ図】

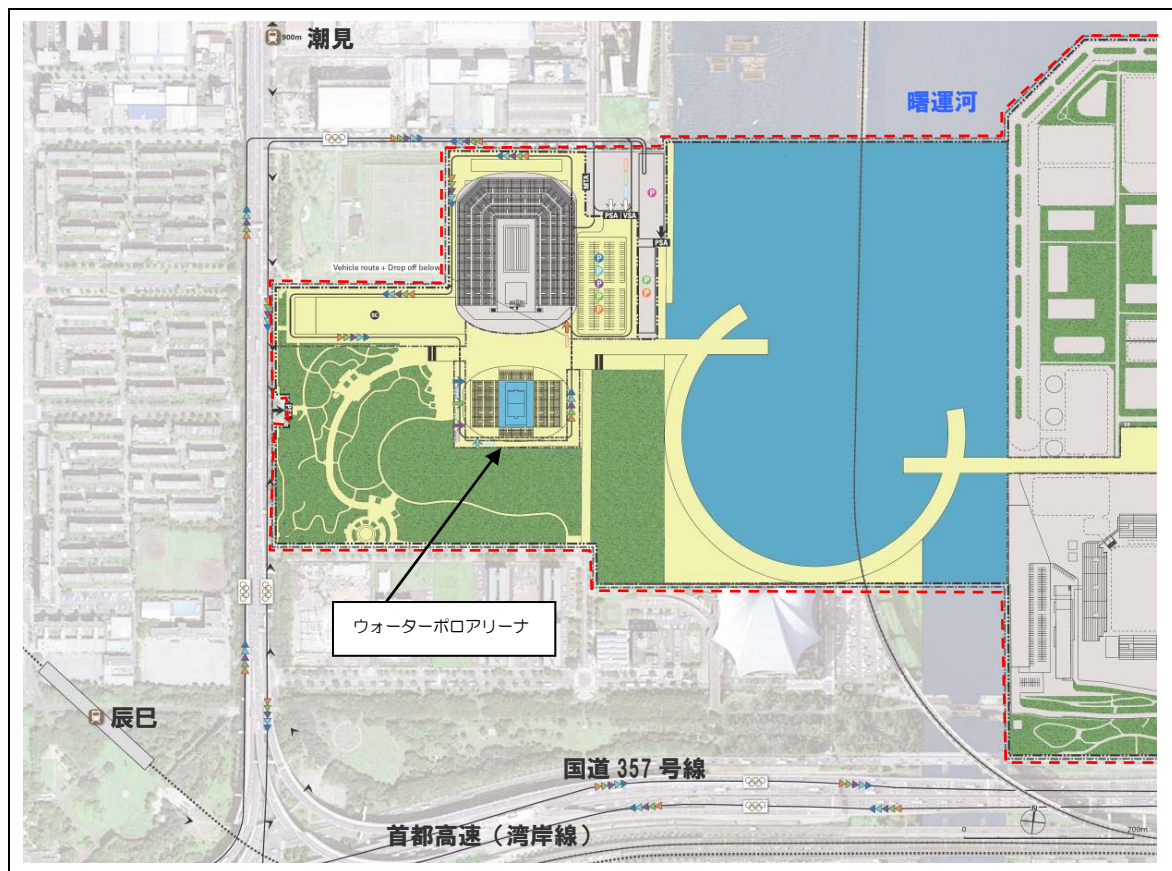




【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-30 会場配置図：オリンピックアクアティクスセンター



【凡例】			
	競技フィールド		車両動線*
	恒久施設 及び 仮設施設		乗降場所*
	放送コンパウンド		車両検査エリア
	観客エリア歩行者入口		歩行者検査エリア
	観客エリア歩行者動線		資材運搬エリア
	関係者エリア歩行者入口*		セキュリティライン
	オリンピックネットワーク		運営境界
	ライブサイト		会場エリア
	最寄り駅		*クライアントグループカラー
	最寄りバスターミナル		選手及びチーム役員
	関係者駐車場*		IF 及び技術役員
	スポンサーバス駐車場		IOC
	水上(海上)バス乗り場		メディア
			運営及びスタッフ

図 1-3-31 会場配置図：ウォーターポロアリーナ

⑱ 選手村

ヘリテッジゾーンと東京ベイゾーンが交わる急速に開発が進んでいるウォーターフロントである晴海ふ頭に位置しており、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の地理的な中心にあるとともに大会コンセプトの中心である。

2020 年東京大会の競技会場は、非常にコンパクトな施設配置であり、東京圏にある 33 の競技会場のうち 28 会場が半径 8km 圏内に位置する。その中心に選手村は位置しており、東京のエンターテイメントの中心地や繁華街にも近接している。

表 1-3-26 会場の概要（選手村）

項目	内容
会場計画の概要	新設恒久会場
	大会後の利用: 住宅、国際交流関連施設
【イメージ図】	
	



図 1-3-32 会場配置図：選手村

⑳ IBC/MPC

IBC/MPC は、日本最大の国際会議・展示施設である東京ビッグサイトに設置される。
 主要なメディア関係者の宿泊施設は、IBC 及び MPC から徒歩圏内という非常に便利な
 位置にある。

表 1-3-27 会場の概要（IBC/MPC）

項目	内容
会場計画の概要	既存会場（改修あり）
	大会後の利用：国際会議・展示施設

【イメージ図】





図 1-3-33 会場配置図：IBC/MPC

(3) その他の競技会場

① 武蔵野の森総合スポーツ施設

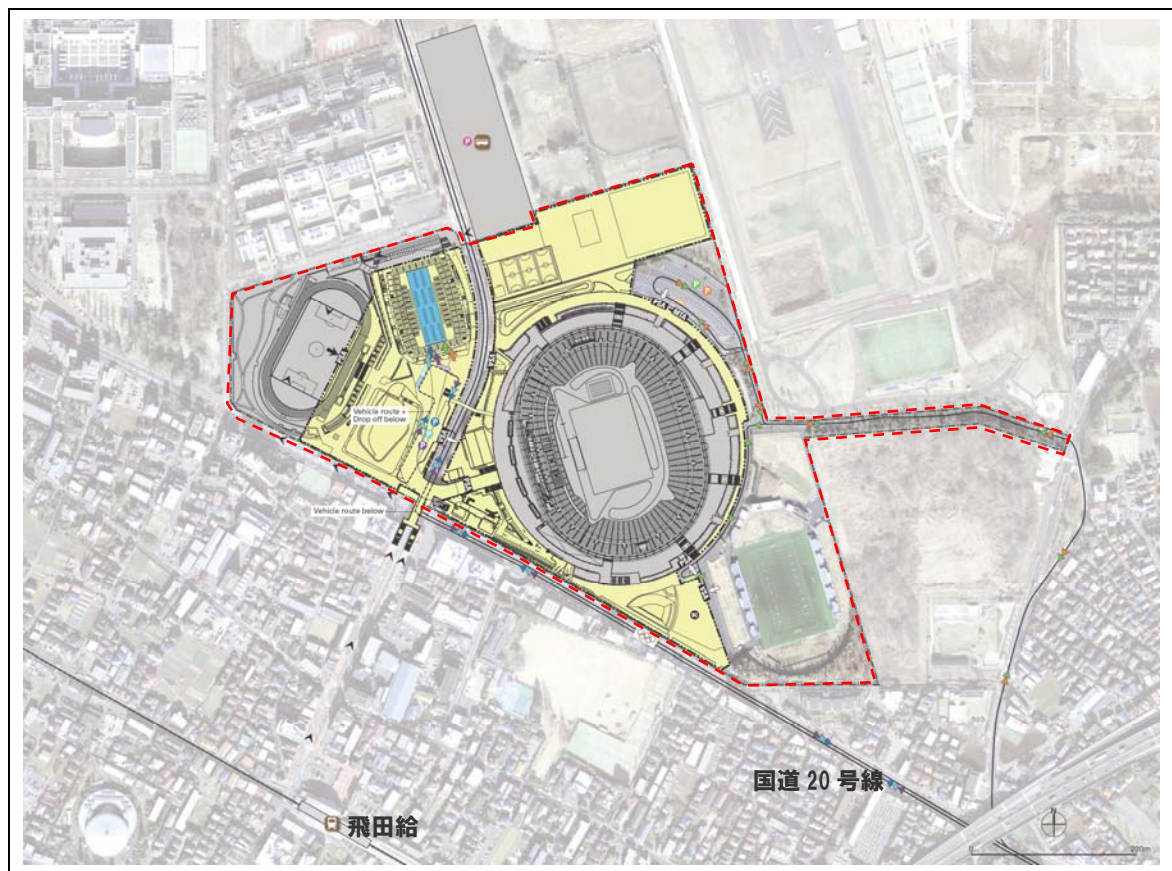
武蔵野の森総合スポーツ施設は、東京西部の多摩地域に計画中の施設であり、「2020年の東京」の中で4大クラスターの一つに位置づけられ、2016年に完成予定である。2020年大会では、体育館が近代五種の会場となる。東京に大いなるスポーツ・レガシーをもたらす。東京都が所有し、多摩地域のスポーツ振興の拠点として、地域スポーツから競技スポーツまで、幅広いイベントに使用するほか、コンサートなどの文化イベントにも使用される。

表 1-3-28 会場の概要（武蔵野の森総合スポーツ施設）

項目	内容
競技	オリンピック：近代五種（フェンシング）
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	新設恒久会場(計画中)
	総座席数: 8,000 席
	大会後の利用: 多目的アリーナ

【イメージ図】





【凡例】			
	競技フィールド		車両動線*
	恒久施設 及び 仮設施設		乗降場所*
	放送コンパウンド		VSA 車両検査エリア
	観客エリア歩行者入口		PSA 歩行者検査エリア
	観客エリア歩行者動線		MTA 資材運搬エリア
	関係者エリア歩行者入口*		セキュリティライン
	オリンピックネットワーク		運営境界
	ライブサイト		関係者駐車場*
	最寄り駅		スポンサーバス駐車場
	最寄りバスターミナル		水上(海上)バス乗り場
	*クライアントグループカラー		運営及びスタッフ
	選手及びチーム役員		IOC
	IF 及び技術役員		メディア

図 1-3-34 会場配置図：武蔵野の森総合スポーツ施設

② 東京スタジアム

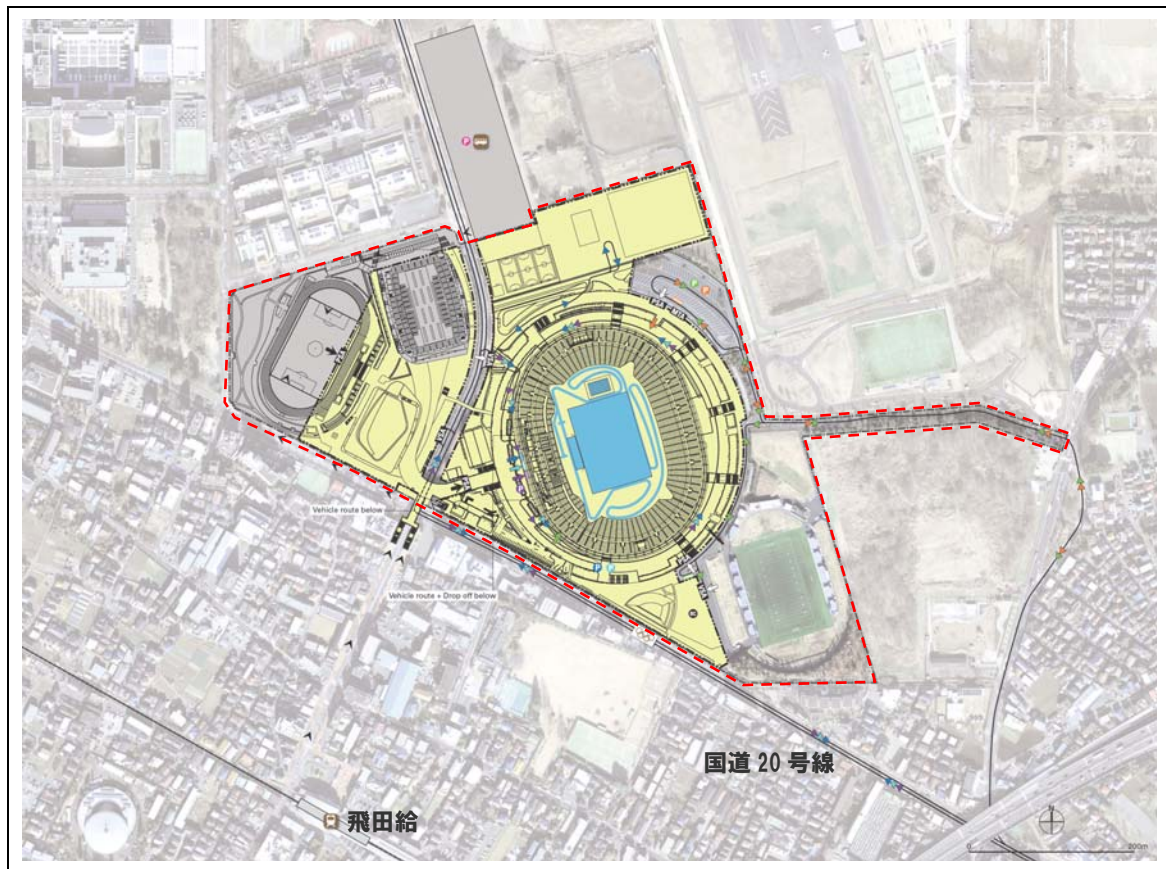
東京スタジアムは、Ｊリーグ等国内外の大会が行われている競技場であり、2002 F I F Aワールドカップ™の際に使用された。

表 1-3-29 会場の概要（東京スタジアム）

項目	内容
競技	オリンピック：近代五種(水泳、馬術、ランニング、射撃)、サッカー(予選)
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	既存会場（改修なし）
	総座席数: 50,000 席
	大会後の利用: 多目的スタジアム

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-35 会場配置図：東京スタジアム

③ 武蔵野の森公園

武蔵野の森公園は、東京西部の多摩地域にある都立の公園であり、公園内にはサッカー場や野球場、テニスコートなどもある。2020 年大会では、自転車競技（ロードレース）のゴール地点となり、大会終了後は、大会前と同様、地域住民の憩いの場やスポーツ振興の拠点として活用される。

表 1-3-30 会場の概要（武蔵野の森公園）

項目	内容
競技	オリンピック：自転車競技（ロードレース:ゴール）
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	仮設
	総座席数: 1,000 席
	大会後の利用: 公園

【イメージ図】



【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-36 会場配置図：武蔵野の森公園

④ 陸上自衛隊朝霞訓練場

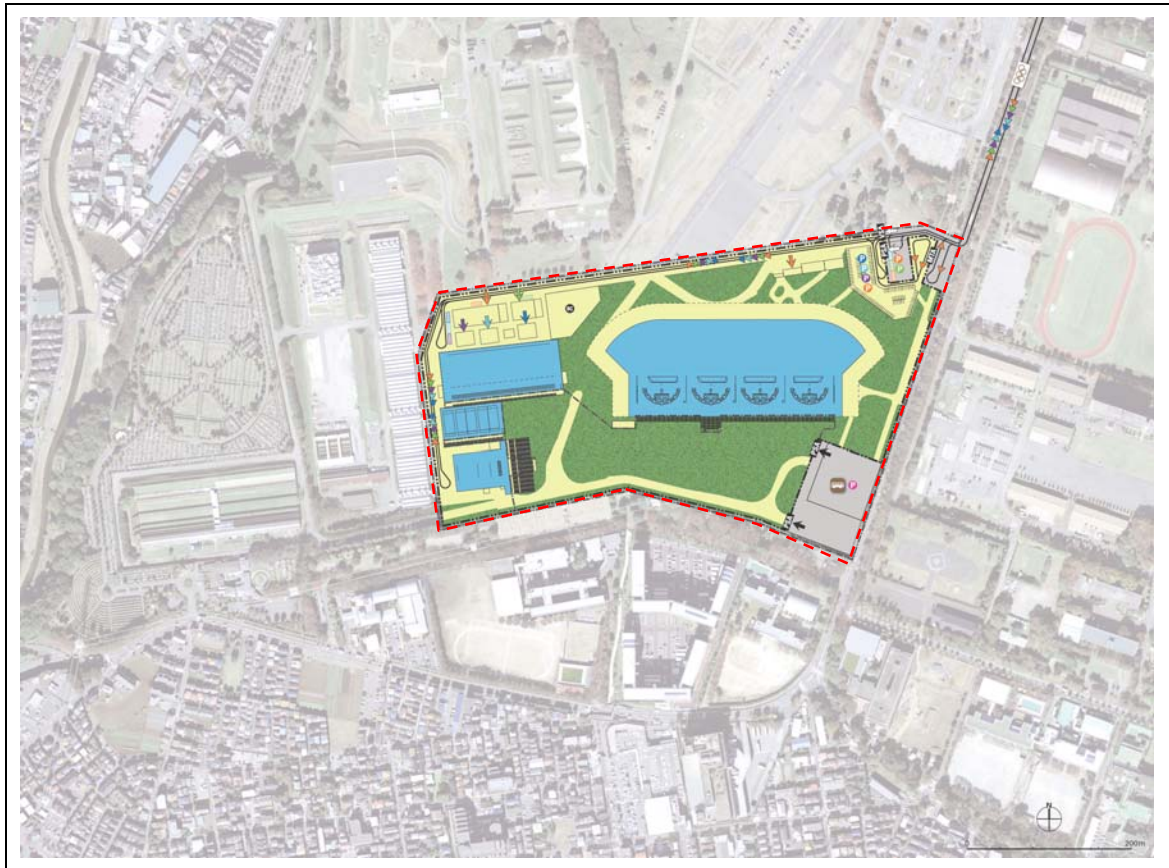
陸上自衛隊朝霞訓練場は、1964 年東京大会の際にライフル射撃の会場として使用され、現在も競技場・練習場として利用されている。この会場に仮設施設を設置することにより、オリンピックの高い基準に適合した施設となる。

表 1-3-31 会場の概要（陸上自衛隊朝霞訓練場）

項目	内容
競技	オリンピック：射撃
	パラリンピック：射撃
会場計画の概要	仮設
	総座席数: 7,600 席
	大会後の利用: 陸上自衛隊訓練場

【イメージ図】





【凡例】			
 競技フィールド	 車両動線*	 ライブサイト	*クライアントグループカラー
 恒久施設 及び 仮設施設	 乗降場所*	 最寄り駅	 選手及びチーム役員
 放送コンパウンド	 車両検査エリア	 最寄りバスターミナル	 IF 及び技術役員
 観客エリア歩行者入口	 歩行者検査エリア	 関係者駐車場*	 IOC
 観客エリア歩行者動線	 資材運搬エリア	 スポンサーバス駐車場	 メディア
 関係者エリア歩行者入口*	 セキュリティライン	 水上(海上)バス乗り場	 運営及びスタッフ
 オリンピックネットワーク	 運営境界	 会場エリア	

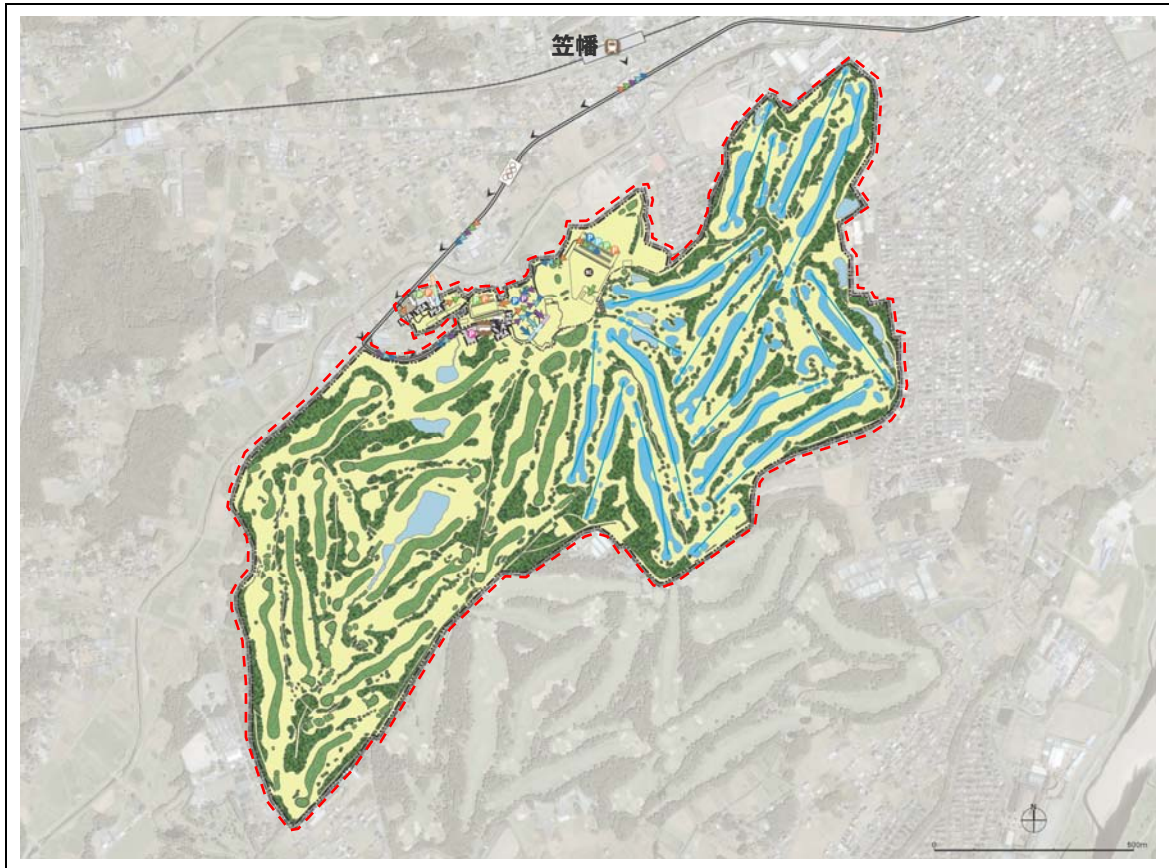
図 1-3-37 会場配置図：陸上自衛隊朝霞訓練場

⑤ 霞ヶ関カンツリー倶楽部

東京の北西に位置する霞ヶ関カンツリー倶楽部は既存のゴルフ場であり、数多くの国際大会が行われた実績をもつ。ゴルフ競技の会場として使用され、大会後も従前通りゴルフ場として使用される。

表 1-3-32 会場の概要（霞ヶ関カンツリー倶楽部）

項目	内容
競技	オリンピック：ゴルフ
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	既存会場（改修なし）
	総座席数: 25,000 席(うち、立見席 24,000)
	大会後の利用: ゴルフ場
【イメージ図】	
	



【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-38 会場配置図：霞ヶ関 C C

⑥ 札幌ドーム

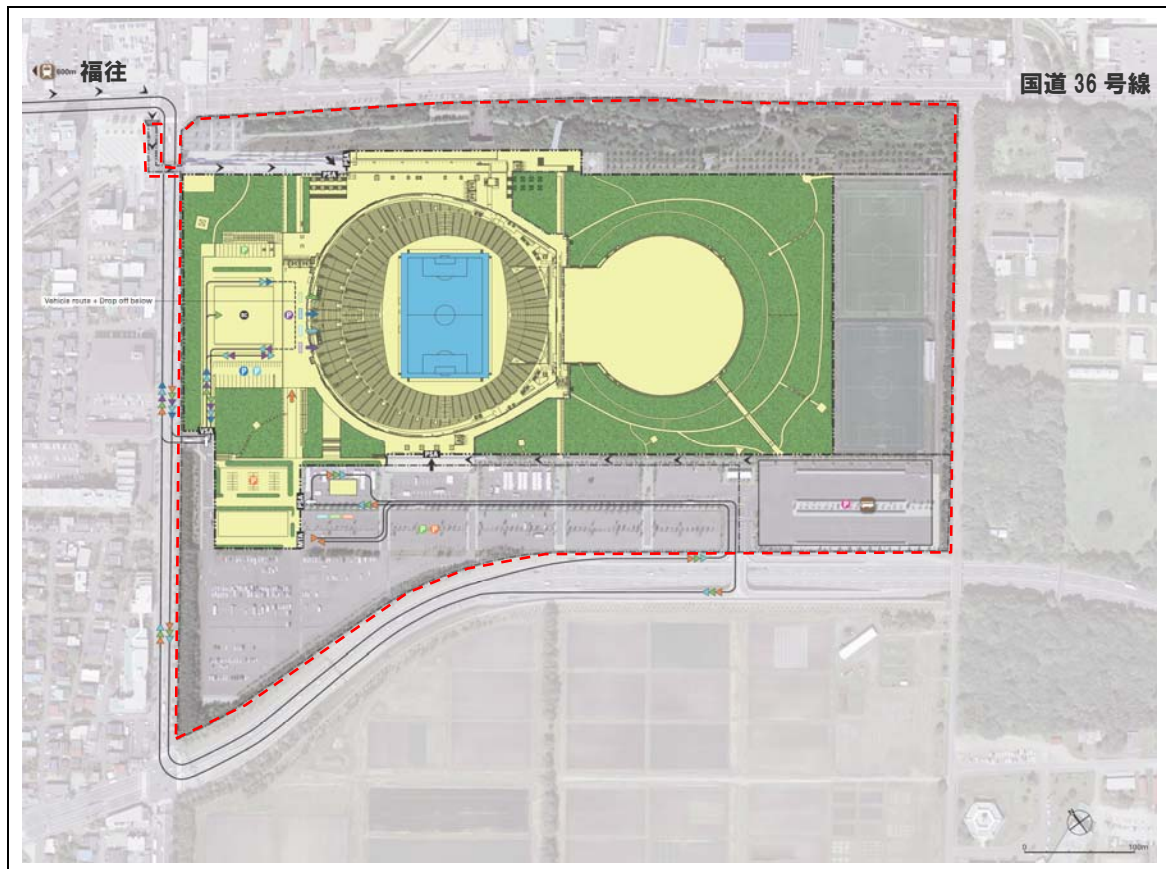
札幌ドームは、Ｊリーグ等国内外の大会が行われている競技場であり、2002 F I F A ワールドカップ™の際に使用された。

サッカー用の天然芝グラウンドをドーム内外に出し入れ可能な札幌ドームは、屋内かつ天然芝でサッカーの試合ができる会場である。

表 1-3-33 会場の概要（札幌ドーム）

項目	内容
競技	オリンピック：サッカー
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	既存会場（改修なし）
	総座席数: 41,000 席
	大会後の利用: 多目的ドーム

【イメージ図】



【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-39 会場配置図：札幌ドーム

⑦ 宮城スタジアム

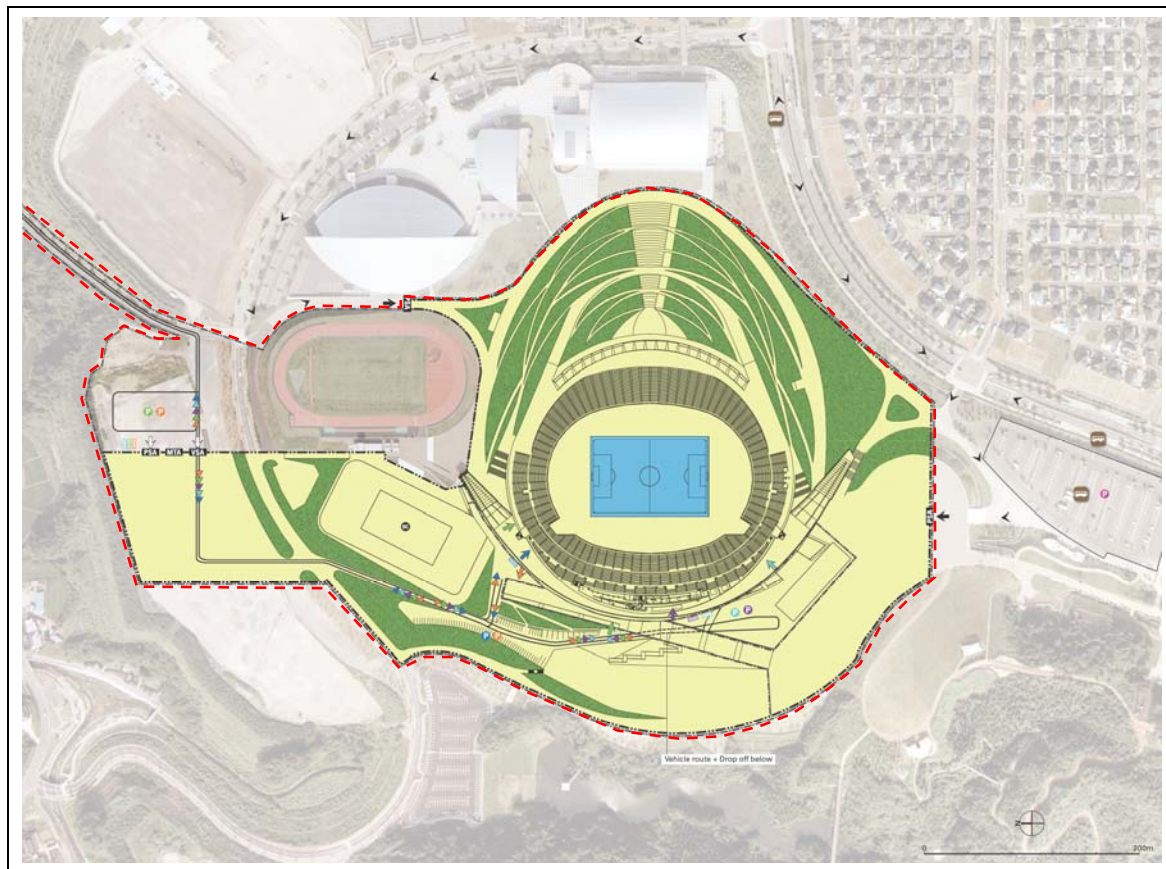
宮城スタジアムは、Jリーグ等国内外の大会が行われている競技場であり、2002 F I F Aワールドカップ™の際に使用された。

表 1-3-34 会場の概要（宮城スタジアム）

項目	内容
競技	オリンピック：サッカー
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	既存会場（改修なし）
	総座席数: 50,000 席
	大会後の利用: 多目的スタジアム

【イメージ図】





【凡例】			
	競技フィールド		車両動線*
	恒久施設 及び 仮設施設		乗降場所*
	放送コンパウンド		車両検査エリア
	観客エリア歩行者入口		歩行者検査エリア
	観客エリア歩行者動線		資材運搬エリア
	関係者エリア歩行者入口*		セキュリティライン
	オリンピックネットワーク		運営境界
	ライブサイト		最寄り駅
	選手及びチーム役員		最寄りバスターミナル
	IF 及び技術役員		関係者駐車場*
	IOC		スポンサーバス駐車場
	メディア		水上(海上)バス乗り場
	運営及びスタッフ		会場エリア

図 1-3-40 会場配置図：宮城スタジアム

⑧ 埼玉スタジアム 2002

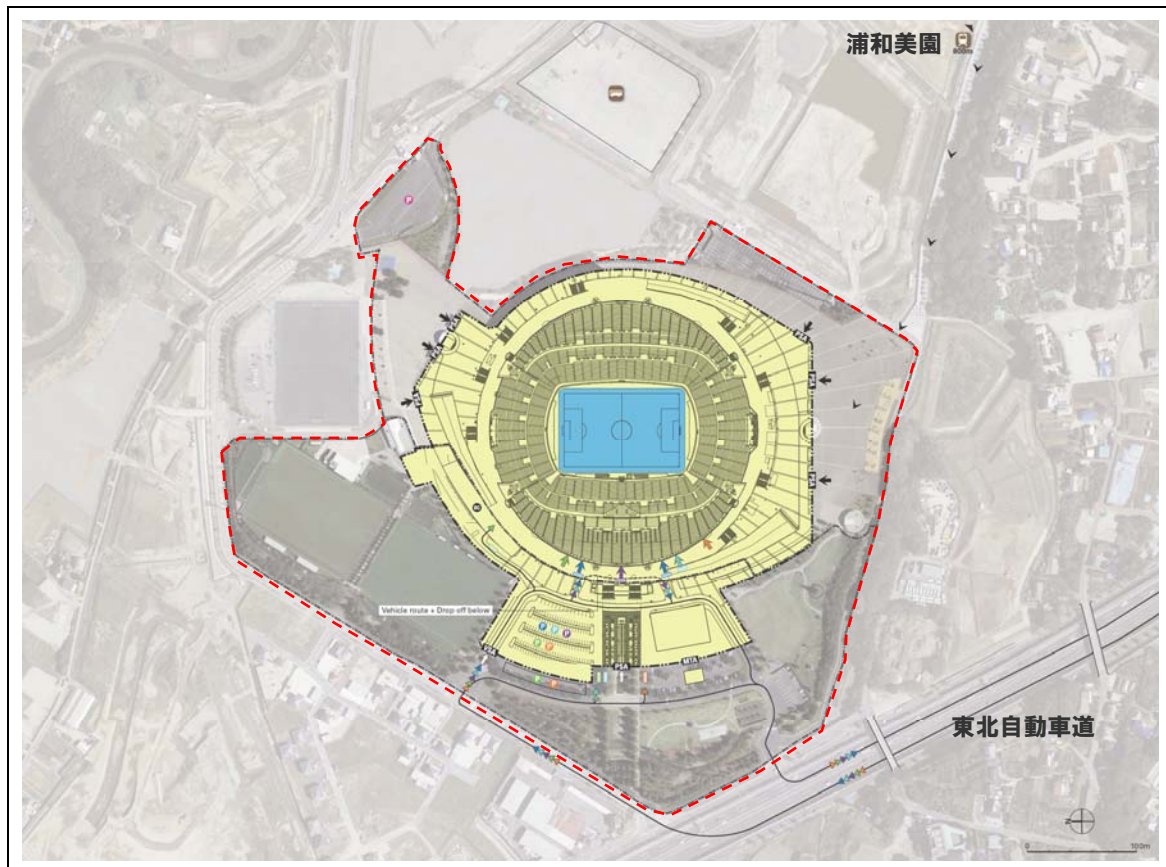
埼玉スタジアムは、Jリーグ等国内外の大会が行われている競技場であり、2002 F I F Aワールドカップ™の際に使用された。

表 1-3-35 会場の概要（埼玉スタジアム 2002）

項目	内容
競技	オリンピック：サッカー
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	既存会場（改修なし）
	総座席数: 64,000 席
	大会後の利用: 多目的スタジアム

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	VSA 車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	PSA 歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	MTA 資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-41 会場配置図：埼玉スタジアム2002

⑨ 横浜国際総合競技場

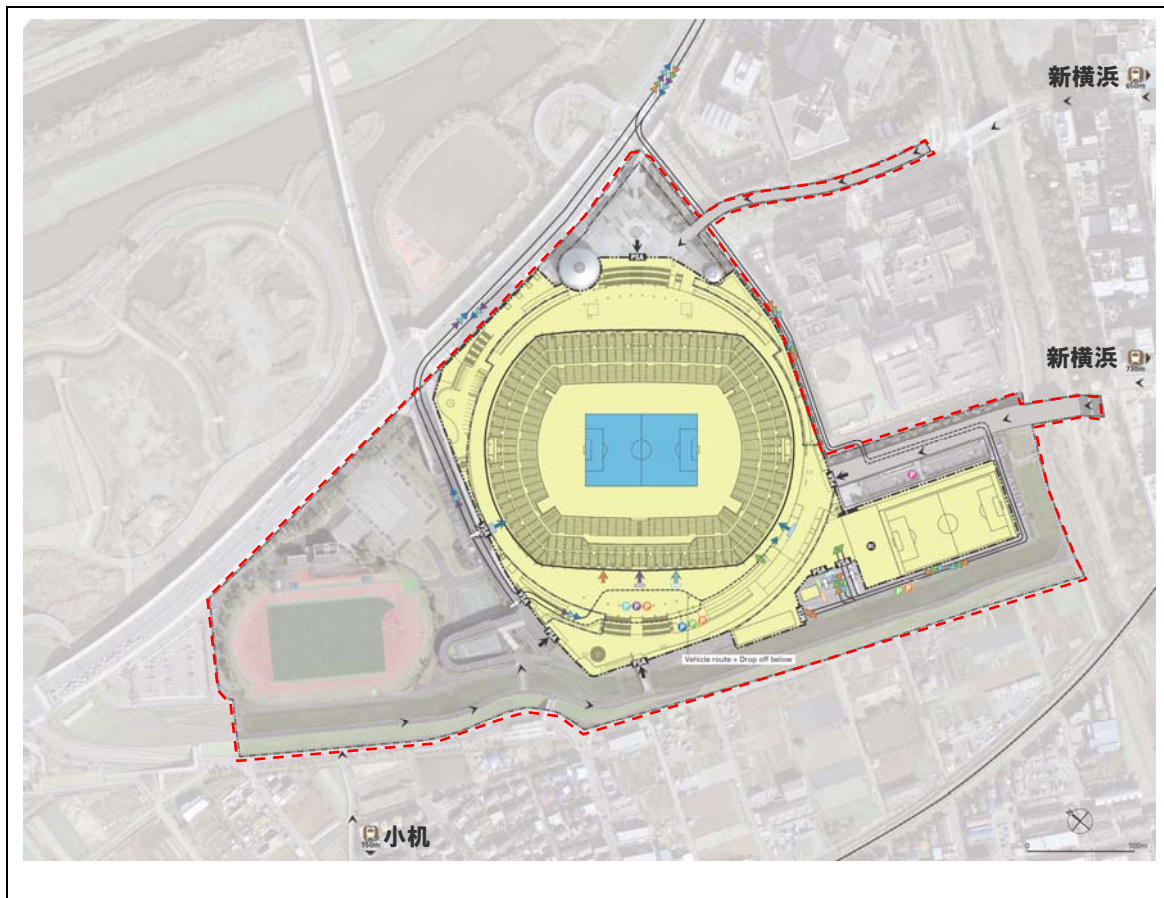
横浜国際総合競技場は、日本最大規模の観客収容能力を誇る屋外多目的競技場で、2002 年 FIFA ワールドカップ™では決勝戦の舞台となった。

表 1-3-36 会場の概要（横浜国際総合競技場）

項目	内容
競技	オリンピック：サッカー
	パラリンピック：なし
会場計画の概要	既存会場（改修なし）
	総座席数: 72,000 席
	大会後の利用: 多目的スタジアム

【イメージ図】





【凡例】

競技フィールド	車両動線*	ライブサイト	*クライアントグループカラー
恒久施設 及び 仮設施設	乗降場所*	最寄り駅	選手及びチーム役員
放送コンパウンド	車両検査エリア	最寄りバスターミナル	IF 及び技術役員
観客エリア歩行者入口	歩行者検査エリア	関係者駐車場*	IOC
観客エリア歩行者動線	資材運搬エリア	スポンサーバス駐車場	メディア
関係者エリア歩行者入口*	セキュリティライン	水上(海上)バス乗り場	運営及びスタッフ
オリンピックネットワーク	運営境界	会場エリア	

図 1-3-42 会場配置図：横浜国際総合競技場

1-3-3 会場の諸元

各会場の諸元は、表 1-3-37 (p1-85～1-86) に示すとおりであり、有明アリーナ、大井ホッケー場、選手村等の 10 会場は、会場エリア内において恒久施設を新設する計画である。

その他の会場では、既存会場を活用する計画としている。

なお、オリンピックスタジアム及び武蔵野の森総合スポーツ施設の 2 会場は、新設が計画されている施設を使用する計画である。

表 1-3-37(1) 施設等の諸元

No.	会場名	所在地	規模等要件						建設内容					競技名		インパクト要因等		
			会場面積 (ha)	施設面積 (㎡)	恒設 延床面積 (㎡)	仮設延床面積(㎡)		建物構造	階数	新設恒久 会場	新設恒久 会場 (計画中)	仮設	既存会場		オリンピック競技	パラリンピック競技	観客座席数 (オリンピック競技)	駐車台数 (開催中)
						プレハブ以外	プレハブ						改修あり	改修なし				
1	オリンピックスタジアム	東京都新宿区霞ヶ丘町10-2他 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-15-1他	44.9	-	290,000	-	2,800	計画中	地上8階						開・閉会式、陸上競技、 サッカー(決勝)、ラグビー	開・閉会式 陸上競技	80,000	760
2	東京体育館	東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1		24,900	-	-	1,000	RC造・SRC造・S造	地上3階、地下2階						卓球	卓球	8,000	180
3	国立代々木競技場	東京都渋谷区神南2-1-1	8.7	26,100	-	2,800	3,800	RC造・SRC造	地上2階、地下2階						ハンドボール	ウィルチェアーラグビー	12,000	180
4	日本武道館	東京都千代田区北の丸公園2-3	9.3	11,100	1,000	-	4,600	RC造・S造	地上3階、地下2階						柔道	柔道	11,000	180
5	皇居外苑	東京都千代田区皇居外苑	10.2	7,200	-	-	7,200	S造	地上1階						自転車(ロード・レース:スタート)		1,000	460
6	東京国際フォーラム	東京都千代田区丸の内3-5-1	3.1	21,000	-	-	-	S造・RC造	地上11階、地下3階						ウエイトリフティング		5,000	180
7	国技館	東京都墨田区横綱1-3-28	3.2	15,800	-	1,600	2,000	SRC造	地上3階、地下2階						ボクシング		10,000	170
8	有明アリーナ	東京都江東区有明1丁目	42.6	19,400	41,400	-	700	計画中	地上3階						バレーボール(インドア)	シットイングバレーボール	15,000	260
9	有明BMXコース	東京都江東区有明1丁目		5,700	-	7,400	-	S造	地上2階						自転車競技(BMX)		5,000	370
10	有明ベロドローム	東京都江東区有明1丁目		13,900	-	25,000	-	S造	地上2階						自転車競技(トラック・レース)	自転車競技(トラックレース)	5,000	370
11	有明体操競技場	東京都江東区有明1丁目		13,300	-	29,100	1,600	S造	地上3階						体操	ゴールボール	12,000	260
12	有明テニスの森	東京都江東区有明2-2-22	15.8	40,900	17,800	-	1,900	SRC造・RC造 (Center Court) RC造(Show Court 1) 地上2階(Inddor)	地上4階(Center Court) 地上2階(show Court 1) 地上1階(show Court 2) 地上2階(Inddor)						テニス	車いすテニス	20,500	300
13	お台場海浜公園	東京都港区台場1丁目	58.6	6,100	-	-	6,100	S造	地上1階						トライアスロン、水泳(マラソン 10km)	自転車競技(ロード・レース)、パ ラトライアスロン	10,000	300
14	潮風公園	東京都品川区東八潮		4,900	-	-	7,200	S造	地上2階						バレーボール(ビーチ)		12,000	250
15～16	東京ビッグサイト・ホールA、B	東京都江東区有明3-12	30.8	172,000	-	-	14,800	S造・RC造・SRC造	地上3階、地下1階 (東展示棟)						レスリング フェンシング デコンドー	パワーリフティング、ボッチャ	18,000	360
17	大井ホッケー競技場	東京都品川区八潮4丁目	7.1	7,300	4,700	-	3,700	S造	地上2階						ホッケー	視覚障害者5人制サッカー、脳 性麻痺者7人制サッカー	15,000	180
18	海の森クロスカントリーコース	東京都江東区青海2丁目地先	60.4	9,300	-	1,600	7,600	S造	地上2階						馬術(クロスカントリー)		0	510
19	海の森水上競技場	東京都江東区青海3丁目地先	85.2	18,000	9,400	-	11,800	S造	地上2階						ボート、カヌー(スプリント)	ボート、カヌー	14,000	540
20	海の森マウンテンバイクコース	東京都江東区青海2丁目地先	56.9	7,400	-	-	7,400	S造	地上1階						自転車競技(マウンテンバイク)		2,000	320
21	若洲オリンピックマリーナ	東京都江東区若洲	25.7	9,100	2,000	-	7,100	S造	地上1階						セーリング	セーリング	2,000	420
22	葛西臨海公園	東京都江戸川区臨海町6丁目	18.2	8,100	800	-	7,200	S造	地上1階						カヌー(スラローム)		12,000	190

注 1) 建設内容の区分で、「仮設」は、全ての建設物が仮設である会場であり、「仮設」以外の会場においても、仮設施設を設置する場合がある。

2) 本表の会場面積は、セキュリティラインに囲まれた範囲の面積を表す。

表 1-3-37(2) 施設等の諸元

No.	会場名	所在地	規模等要件						建設内容					競技名		インパクト要因等		
			会場面積 (ha)	施設面積 (㎡)	恒設 延床面積 (㎡)	仮設延床面積(㎡)		建物構造	階数	新設恒久 会場	新設恒久 会場 (計画中)	仮設	既存会場		オリンピック競技	パラリンピック競技	観客席総数 (オリンピック競技)	駐車台数 (開催中)
						プレハブ以外	プレハブ						改修あり	改修なし				
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B	東京都江東区夢の島3	89.7	55,600	84,500	-	1,500	計画中	地上4階 (一部地下有り)						バドミントン バスケットボール	車椅子バスケットボール、車い すフェンシング	25,000	430
25	夢の島公園	東京都江東区夢の島3		9,500	-	-	14,800	S造	地上4階						アーチェリー	アーチェリー	7,000	190
26	夢の島競技場	東京都江東区夢の島3		23,300	-	-	11,500	11,700	S造	地上2階					馬術(競技馬術、障害馬術)	馬術	14,000	530
27	オリンピックアクアティクスセンター	東京都江東区辰巳2-8-10		44,200	43,200	49,800	4,200	計画中	地上4階、地下1階						水泳(競泳、飛込、シンクロナイ ズドスイミング)	水泳	26,500	330
28	ウォーターボロアリーナ		水泳(水球)															
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	東京都調布市飛田給1丁目	3.8	26,900	-	-	-	計画中	地上3階						近代五種(フェンシング)		8,000	210
30	東京スタジアム	東京都調布市西町376-3	13.5	45,600	-	-	1,600	RC造・SRC造・PC造・S造	地上5階、地下1階						近代五種(水泳、馬術、ラン、射 撃)、サッカー(予選)		50,000	230
31	武蔵野の森公園	東京都三鷹市大沢5-7-2	14.6	6,900	-	-	6,900	S造	地上1階						自転車競技(ロード・レース・ゴー ル)		1,000	520
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	埼玉県新座市新塚1丁目	16.4	16,800	-	11,300	5,500	S造	地上1階						射撃	射撃	7,600	170
33	霞ヶ関CC	埼玉県川越市笠幡3398番地	134.1	10,000	-	-	5,200	S造	地上2階						ゴルフ		1,000	250
34	札幌ドーム	北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1	16.2	57,600	-	-	2,400	RC造・S造・SRC造	地上4階、地下2階						サッカー(予選)		41,000	220
35	宮城スタジアム	宮城県宮城郡利府町菅谷字館40- 1	21.4	38,400	-	-	1,200	SRC造・S造	地上6階						サッカー(予選)		50,000	220
36	埼玉スタジアム2002	埼玉県さいたま市緑区中野田500	10.4	55,400	-	-	4,500	RC造・SRC造・S造	地上5階、地下1階						サッカー(予選)		64,000	220
37	横浜国際総合競技場	神奈川県横浜市中区小机町3300	11.9	70,400	-	-	3,500	RC造・S造・PC造	地上7階						サッカー(予選)		72,000	220
OV	選手村	東京都中央区晴海4丁目・5丁目	70.2	125,300	368,300	13,000	109,700	計画中	地上14階						住居棟、各種運営施設		(宿泊者数17,000人)	1,120
IBC/MPC	IBC/MPC	江東区有明3-21	30.8	162,900	45,700	-	-	RC造・SRC造	地上8階、地下1階						報道・放送関係者用施設		-	1,350

注 1) 建設内容の区分で、「仮設」は、全ての建設物が仮設である会場であり、「仮設」以外の会場においても、仮設施設を設置する場合がある。
 2) 本表の会場面積は、セキュリティラインに囲まれた範囲の面積を表す。
 3) NO, 25 夢の島公園は、新設恒久会場であるが、恒設の建築物は設置しないことから、恒設延べ床面積は0となる。

1-3-4 屋外競技コース

開催競技のうち表 1-3-38 に示す競技は屋外で実施することとなるが、これら屋外競技の開催場所及びコースは、図 1-3-43～図 1-3-51 (p1-84～1-87)に示すとおりである。

表 1-3-38 屋外競技の概要

競技No.	競技		類型	
	オリンピック	パラリンピック		
1	陸上競技（マラソン）	陸上競技（マラソン）	陸 域	敷地外
2	陸上競技（競歩）	－		
3	自転車競技（ロード・レース）	自転車競技（ロード・レース）		
4	トライアスロン	パラトライアスロン	水域	
5	水泳（マラソン 10km）	－		
6	カヌー（スプリント）	パラカヌー		
7	カヌー（スラローム）			
8	ボート	ボート		
9	セーリング	セーリング		

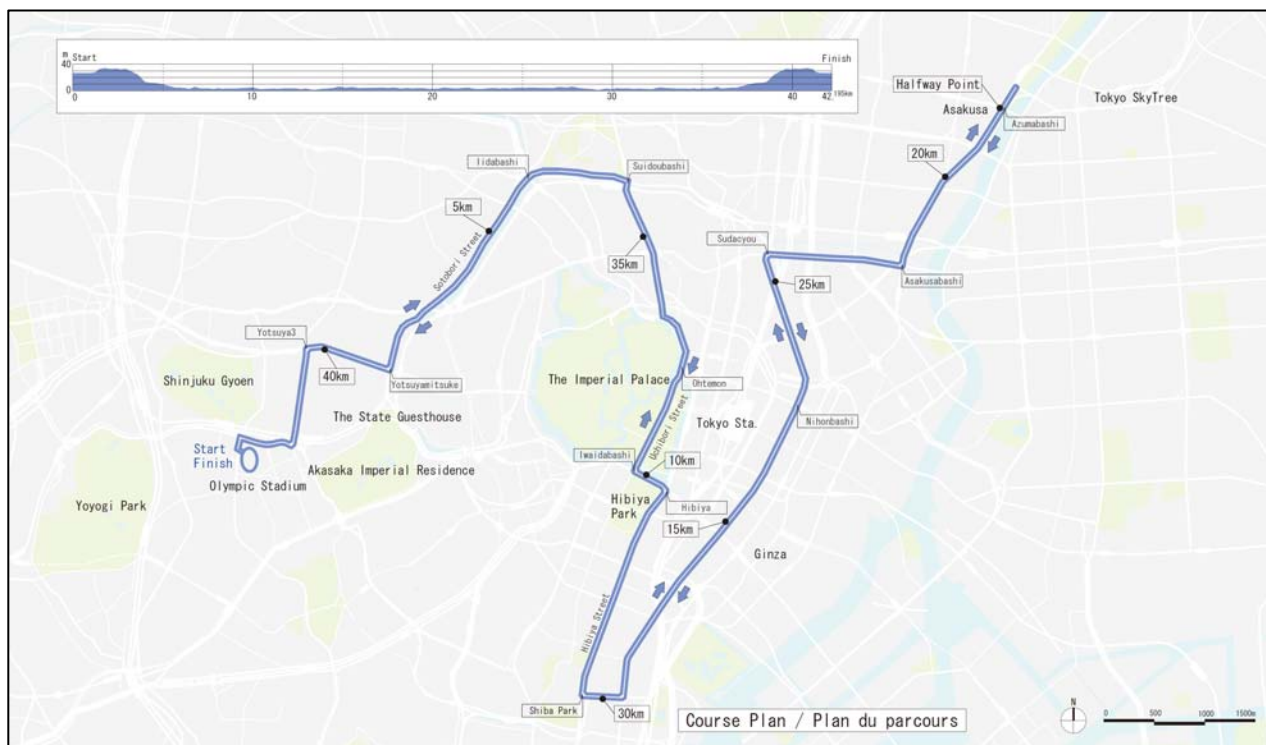


図 1-3-43 屋外競技コース：陸上競技（マラソンコース）

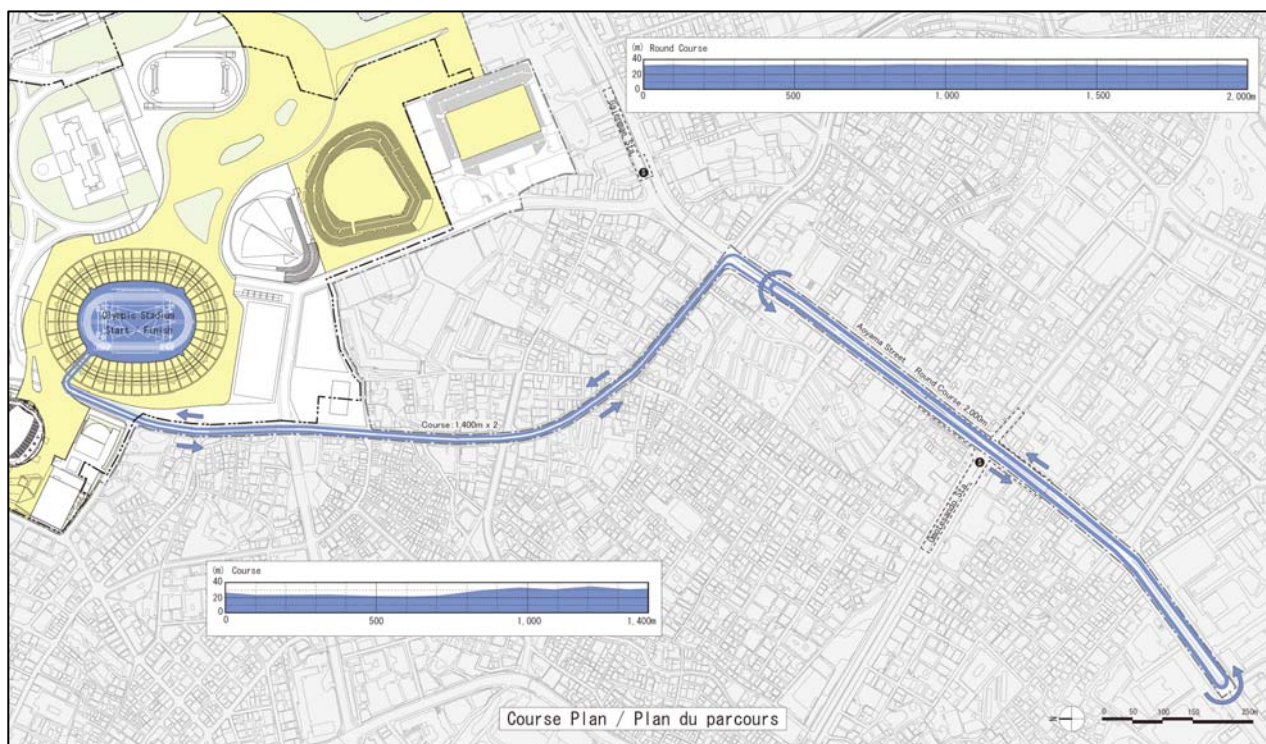


図 1-3-44 屋外競技コース：陸上競技（競歩コース）

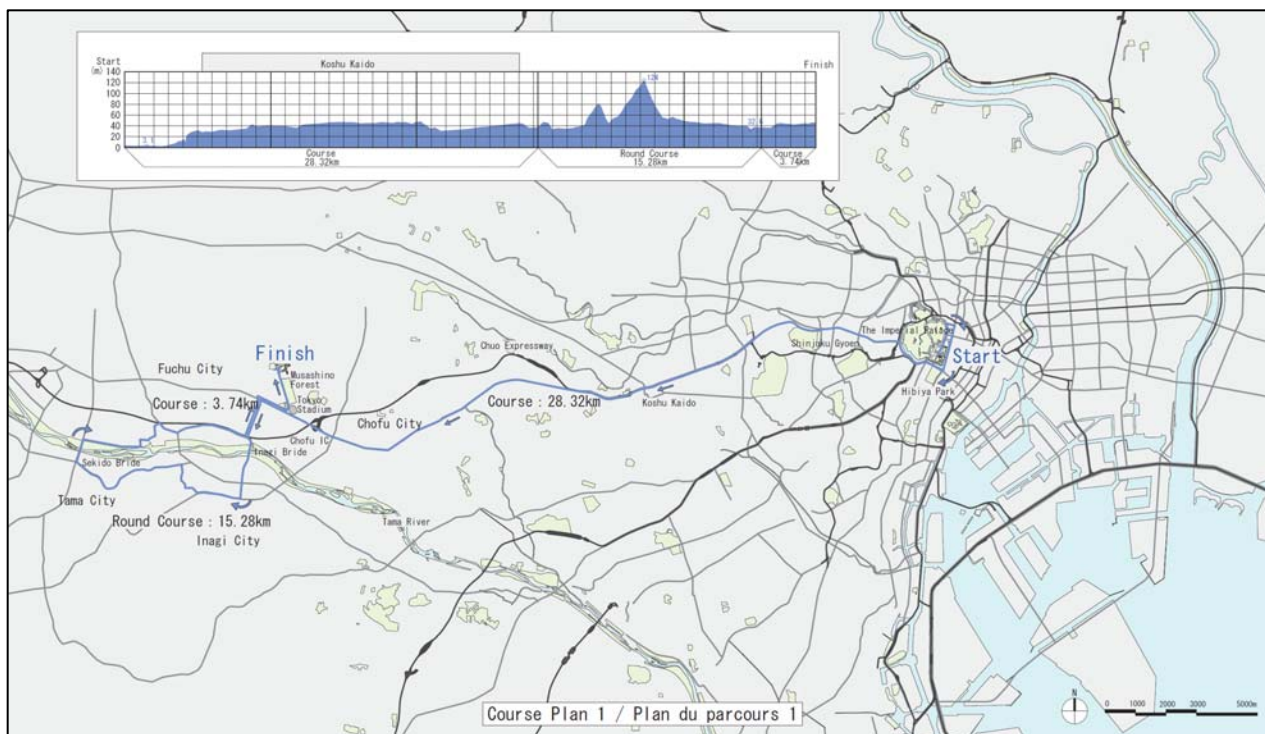


図 1-3-45 屋外競技コース：自転車競技（ロード・レースコース）

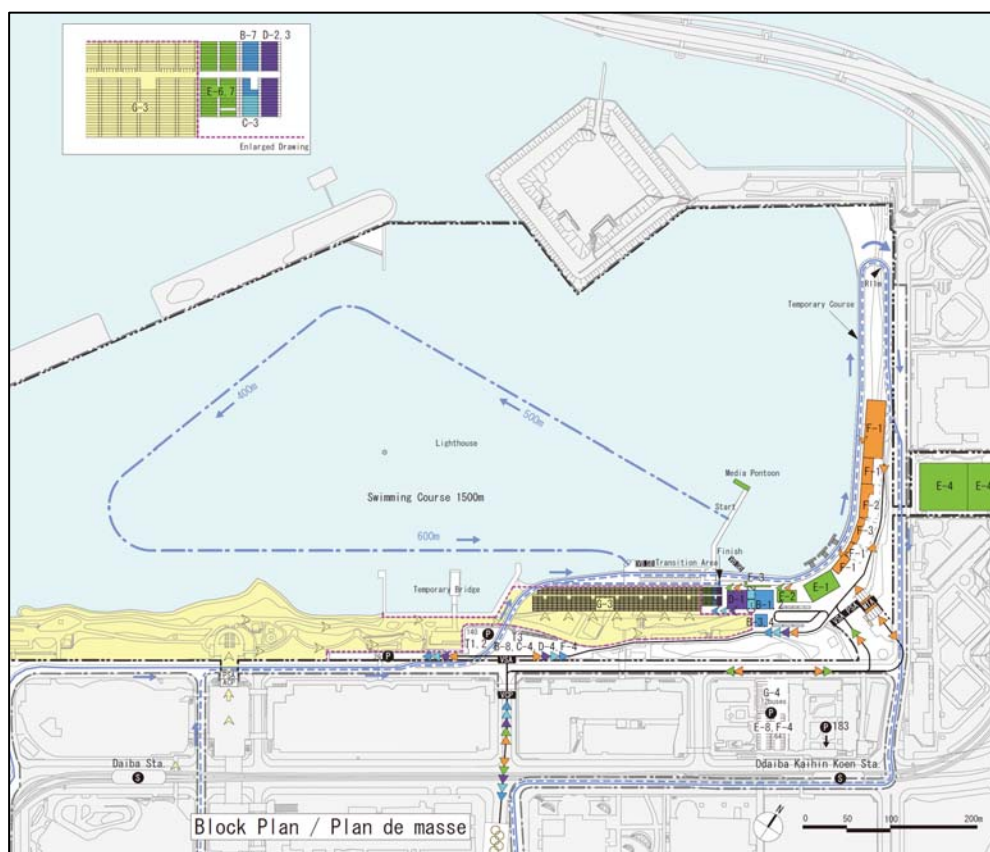


図 1-3-46 屋外競技コース：トライアスロンコース

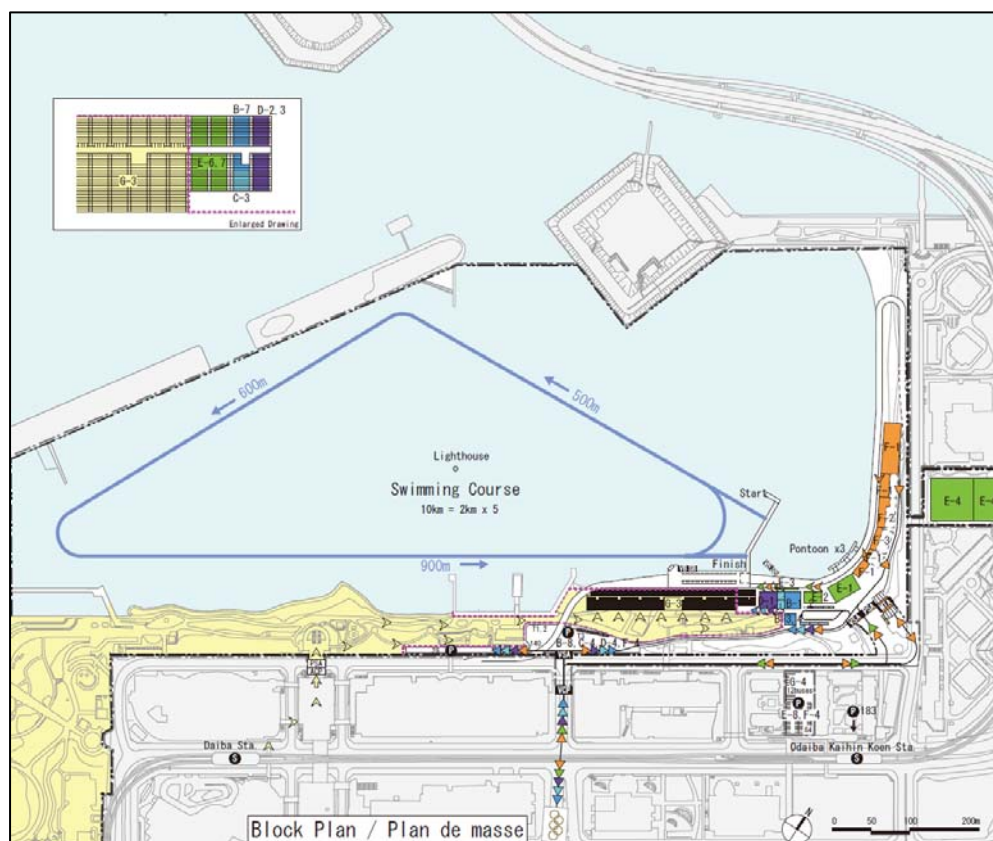


図 1-3-47 屋外競技コース：水泳（マラソン10km コース）

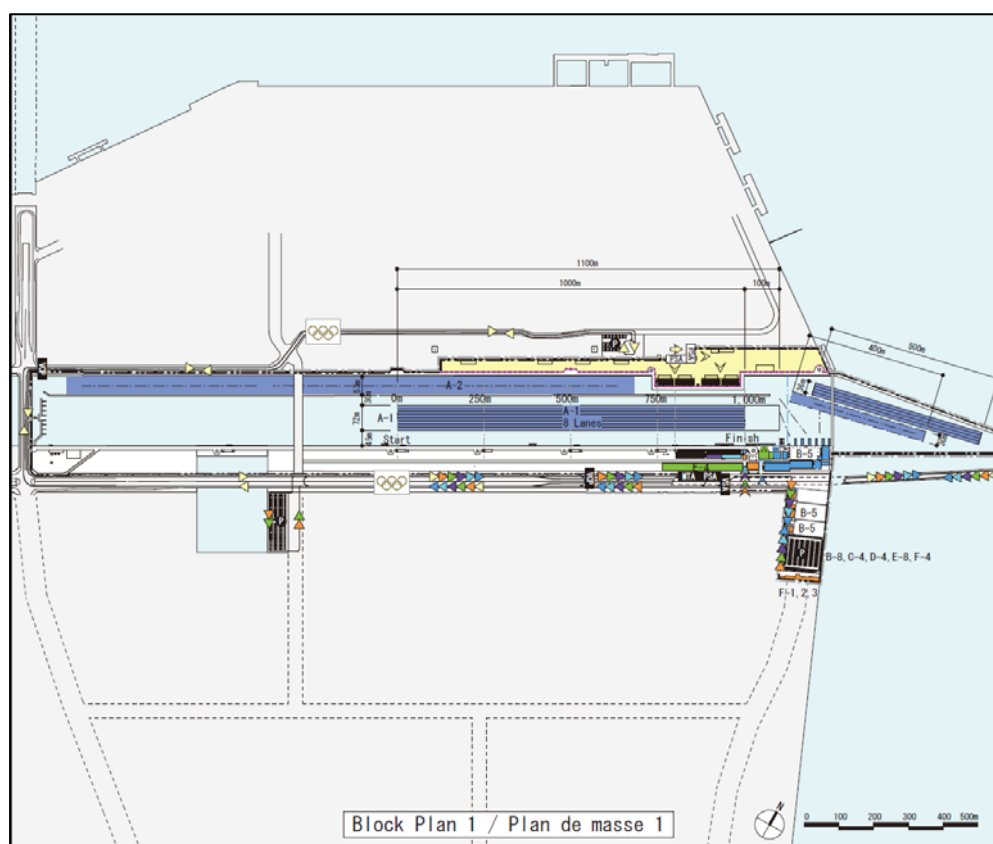


図 1-3-48 屋外競技コース：カヌー（スプリントコース）

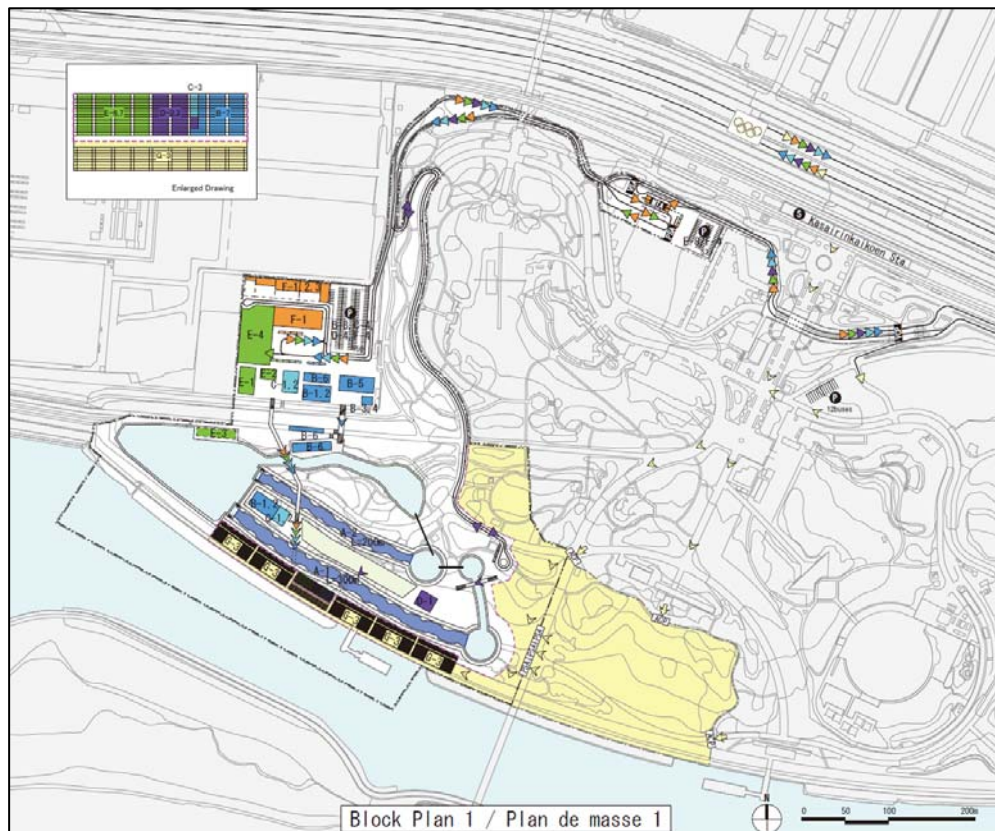


図 1-3-49 屋外競技コース：カヌー（スラロームコース）

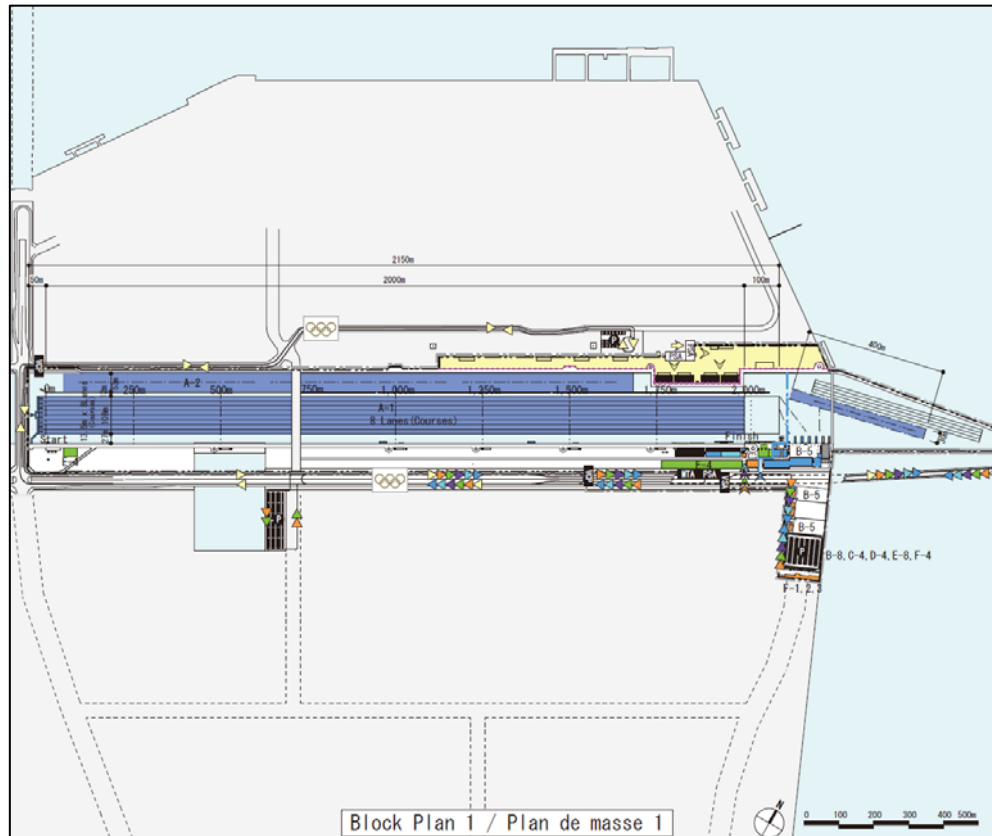


図 1-3-50 屋外競技コース：ボートコース

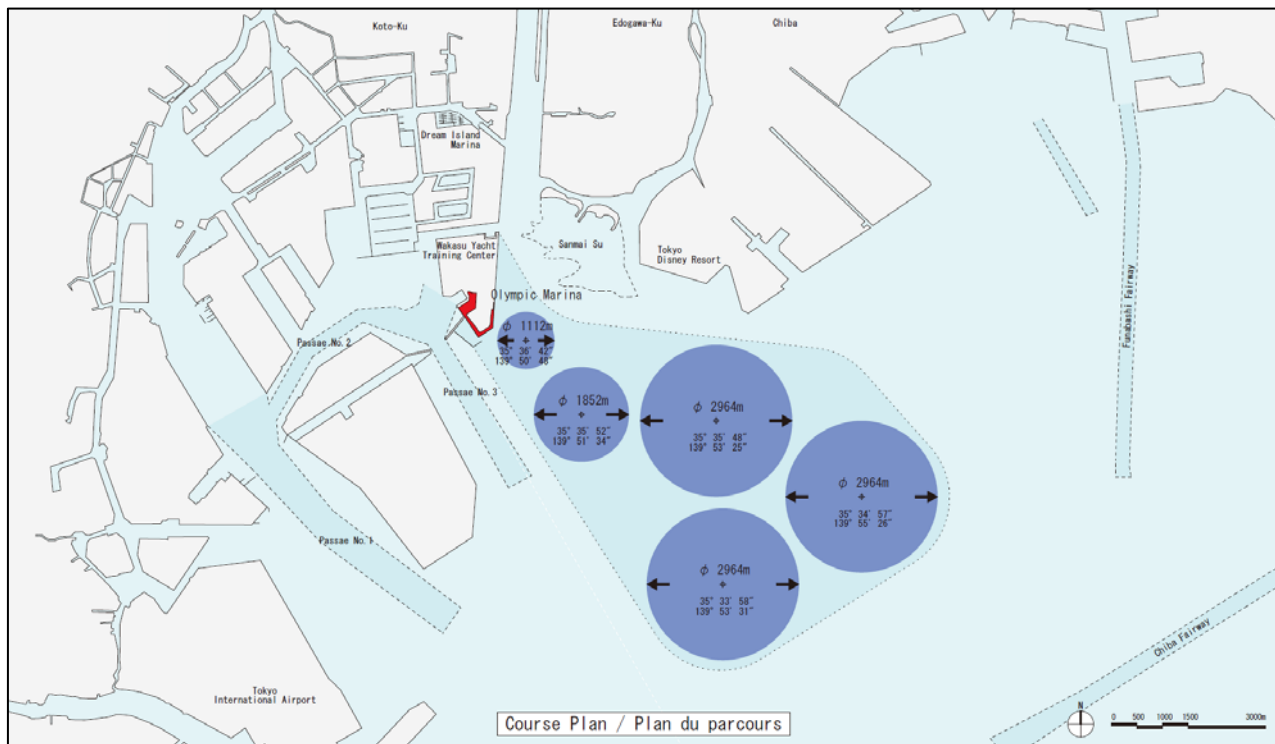


図 1-3-51 屋外競技コース：セーリングコース

1-4 オリンピックレガシーの継承

2020 年東京大会は、1964 年のオリンピックのために建設された施設を、競技会場として使用することでオリンピック・レガシーがいかに重要であることを示すものである。

2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の全競技会場は、「2020 年の東京」の都市戦略やその持続可能なレガシーと緊密に連携している。

1-5 立地の適地性

1-5-1 既存会場の最大利用

競技会場の計画に当たっては、「土地の造成」や「土地利用の変更」に伴う緑地の改変等の環境影響を回避し、最小化するため、できる限り既存の施設を利用することとしており、37 会場のうち、15 会場(41%)が既存の施設を利用する計画である。また、会場建設に伴う「資材等の使用」並びに建設費等を削減する対策により、環境のみならず社会・経済への影響を最小化するように考慮した。

(1) 土地の造成・改変による環境影響の回避

全 37 競技会場のうち、22 会場(59%)が 2020 年東京大会のため、建設予定であり、そのうち恒久施設は 11 会場の予定である。恒久施設のうち、「オリンピックスタジアム」と「武蔵野の森総合スポーツ施設」の 2 会場は、計画中の施設を使用する。

建設予定の会場は、すべて市街地内の公園や未利用地等であり、新たな用地取得や住宅・店舗等の移転がなく、また、土地造成による環境影響を回避した計画としている。

(2) 建設資材使用量の最小化

本計画において建設を行う会場の主要な建設資材量については、すべて新設した場合と比較すると 53%程度削減できると見込まれる。また、オリンピック後に高い稼働率が見込めない会場や原状回復が求められる会場については仮設とすることにより恒久施設にした場合に比べて資材量の削減が可能となる。

(3) 緑地改変の最小化

既存会場を利用することにより、すべて新設とした場合に比べて、改変は 24%程度削減することができる。

1-5-2 交通インフラの活用

東京の交通インフラは、高速道路網、鉄道網などが充実しており、これらを有効活用するとともに、「2020 年の東京」で整備を推進するインフラや輸送対策により、大会開催時には、選手村、IBC/MPC とほとんどの競技会場間を常に概ね 20 分以内で移動す

ることができる。

大会期間中、観客及び大会スタッフは 100%公共交通機関により輸送される。また、オリンピック関係者はオリンピックレーン及びオリンピック・プライオリティ・ルートで移動し移動総距離を短縮することができ、これらの移動に伴う環境負荷を抑制する。

なお、2020 年東京大会では、海外や国内から来る方々の主要な受入窓口として成田国際空港及び羽田空港を予定しているが、成田国際空港及び羽田空港へのアクセスには既存の公共交通網の利用が予定されており、会場間の輸送も既存の交通インフラを活用するため、2020 年東京大会に向けた新たなインフラストラクチャーは必要としない。

1-5-3 生活及び生活環境への配慮

2020 年東京大会の 37 会場のうち 15 会場が既存施設である。また、28 会場を選手村から 8km 圏内に配置することにより、会場整備に関する影響（建設機械等の稼働、資材機材等の運搬等による自動車の走行による影響）や大会の運営に係る影響（人の集中等）、開催後の影響（仮設物等の撤去、跡地利用等）を広範囲に拡散させることはない。

これらの配慮により、都民の生活並びに生活環境への影響を回避、また最小化する。

このような立地計画の適地性の観点からの環境価値についてとりまとめると、表 1-5-1～表 1-5-3 (p1-95～1-101) に示すとおりとなる。

表 1-5-1 2020 年東京大会の立地の適地性の観点からの環境的価値

立地適地性の観点

環境的価値

①
既存会場の最大利用による環境影響の回避

既存会場の利用により「土地の造成」や「土地利用の変更」に伴う負荷を抑えるとともに、施設建設に伴う「資材等の使用」並びに建設費等を削減するなど社会・経済への負荷を様々な側面から抑え、環境影響を回避する。

【土地の造成】

新設する会場施設として、A表に示す 11 会場があるが、いずれも現在、公園として整備されている場所や未利用地等であり、新たに施設建設のための土地造成は行わない。

A 表 新設会場施設の立地場所	
会場名	立地場所
有明アリーナ	未利用地
大井ホッケー競技場	公園内
海の森水上競技場	未利用地
若洲オリンピックマリーナ	公園内
葛西臨海公園	
夢の島ユース・プラザ アリーナA	
夢の島ユース・プラザ アリーナB	
夢の島公園	
オリンピックアクアティクスセンター	
ウォーターポロアリーナ	
オリンピック選手村	

【資材等の使用】

本計画において建設を行う施設の延べ床面積(恒久・仮設)及び主要な資材の使用量はB表に示すとおりであり、既存会場を利用しない場合と比べると主要な建設資材量は53%程度削減される。

B 表 施設建設に伴う主要建設資材使用量									
項目	延べ床面積(恒久・仮設)	原単位				資材使用量			
		コンクリート	型枠	鉄筋	鉄骨	コンクリート	型枠	鉄筋	鉄骨
		千 m ²	m ³ /m ²	m ² /m ²	t/m ²	t/m ²	千 m ³	千 m ²	千 t
ケース	千 m ²	m ³ /m ²	m ² /m ²	t/m ²	t/m ²	千 m ³	千 m ²	千 t	千 t
本計画	1,321	1.16	5.32	0.14	0.07	1,533	7,030	185	93
既存会場を利用しない場合	2,628					3,048	13,980	368	184
資材削減量	-	-	-	-	-	1,515	6,950	183	91

注)資材使用量算定に用いた原単位は、体育館・講堂・集会施設の平成9年実績に基づく（総研：09 建築工事原価分析情報、建設工業経営研究会）

【緑地の改変】

本計画において施設の建設により、改変される緑地面積は、C表に示すとおりであり、全体で 589 千 m² 程度である。

既存会場を利用しない場合には、新たに既存会場に相当する面積の土地を改変する必要があると考えると、その面積は 1,873 千 m² 程度と想定される。

仮に、東京都臨海部において新たに既存会場に相当する面積の土地を確保とした場合、緑地の改変面積は 187 千 m² 程度と想定される。(江東区の緑地・公園の面積割合 10%【出典：東京都の統計】と同じ割合で緑地が減少すると仮定)

本試算結果に基づく、本計画で既存会場を利用することにより、187 千 m² 程度(約 24%)の緑地の改変が削減されると考えられる。

なお、東京都では、水と緑のネットワーク化を推進しており、震災時に防災拠点等となる都市計画公園等の整備を計画的に進め、今後 10 年間で新たに都市公園等 433ha の整備を推進する計画としている。

C表 緑地の改変面積（大会開催時）

ケース 項目	本計画※ ¹ (既存会場を有効活用する場合)	既存会場を利用しない場合※ ² (すべての施設を新設する場合)
緑地の改変面積 (千 m ²)	589	776 (589+187)

注) ※¹「本計画」の緑地の改変面積は、後述する個別施設の評価における開催中の緑地改変面積の合計値とした(緑地面積は、航空写真から画像解析により抽出された緑被データ(国土交通省 2005)における「樹林地」「草地」を合わせて算定した。)

※²「既存会場を利用しない場合」の緑地の改変面積は、後述する個別施設の評価における、既存会場の敷地面積(緑地の他、施設、舗装道路等)を確保するため 10%の緑地面積が改変されると想定し、本計画による改変面積に加えた値である。ここで対象とした既存会場は、選手村を中心とする 8km 圏内の会場とした。ただし、オリンピックスタジアムは、既定計画で整備されるものであるが、ここでは、既存会場扱いとしなかった。

○「10年後の東京～東京が変わる～」における緑地ネットワークの創出の概要



出典：2020年の東京～大震災を乗り越え、日本の再生を牽引する～、平成23（2011）年12月、東京都

表 1-5-2

2020 年東京大会の立地の適地性の観点からの環境的価値

立地適
地性の
観点

②
交通
イン
フラ
の
活
用
に
よ
る
環
境
影
響
の
回
避

環境的価値

東京の交通インフラは、現状においても、高速道路網、鉄道網などが充実しており、これらのインフラを有効活用することが可能であり、2020 年大会に向けた新たなインフラストラクチャーの整備による環境影響は生じない

2011 年時点における主要施設間のアクセス時間は、D表に示すとおりである。2020 年までには「2020 年の東京」に計画された新しい道路インフラの整備（p1-101 参照）並びに交通管理システムの導入等により、さらに所要時間が短縮することとなり、大会開催時には、選手村、IBC/MPC とほとんどの競技会場間を常に概ね 20 分以内で移動することができる。

D表(1) 主要施設のアクセス時間

競技・施設名	年	成田国際空港			東京国際空港（羽田）			主要ホテル地区			オリンピック選手村			オリンピック・スタジアム			メディア宿泊施設（有明）			IBC/MPC		
		km	平均時間	最大時間	km	平均時間	最大時間	km	平均時間	最大時間	km	平均時間	最大時間	km	平均時間	最大時間	km	平均時間	最大時間	km	平均時間	最大時間
成田国際空港	2012	—	—	—	77	60	65	78	70	95	70	55	60	81	75	95	66	55	60	66	55	60
	2020	—	—	—	77	55	55	72	55	55	68	50	50	79	65	65	68	50	50	67	50	50
東京国際空港（羽田）	2012	77	60	65	—	—	—	20	30	60	16	20	30	24	35	60	13	15	25	13	15	25
	2020	77	55	55	—	—	—	18	20	20	14	15	15	22	25	25	13	10	10	13	10	10
主要ホテル地区	2012	78	70	95	20	30	60	—	—	—	5	15	20	6	10	15	10	25	30	10	25	30
	2020	72	55	55	18	20	20	—	—	—	4	5	5	5	5	5	9	10	10	9	10	10
オリンピック選手村	2012	70	55	60	16	20	30	5	15	20	—	—	—	10	25	35	6	10	15	6	10	15
	2020	68	50	50	14	15	15	4	5	5	—	—	—	7	10	10	5	5	5	5	5	5
オリンピック・スタジアム	2012	81	75	95	24	35	60	6	10	15	10	25	35	—	—	—	15	35	40	15	35	40
	2020	79	65	65	22	25	25	5	5	5	7	10	10	—	—	—	13	15	15	13	15	15
メディア宿泊施設（有明）	2012	66	55	60	13	15	25	10	25	30	6	10	15	15	35	40	—	—	—	<1	<5	<5
	2020	68	50	50	13	10	10	9	10	10	5	5	5	13	15	15	—	—	—	<1	<5	<5
IBC/MPC	2012	66	55	60	13	15	25	10	25	30	6	10	15	15	35	40	<1	<5	<5	—	—	—
	2020	67	50	50	13	10	10	9	10	10	5	5	5	13	15	15	<1	<5	<5	—	—	—
アーチェリー	2012	64	50	55	15	15	20	15	20	30	8	15	15	16	20	35	8	20	25	8	20	25
	2020	64	45	45	15	15	15	10	10	10	6	10	10	17	20	20	6	10	10	5	5	5
水泳（競泳、飛込、シンクロナイズドスイミング）	2012	71	60	70	16	20	30	19	30	40	4	10	10	20	30	45	6	15	15	6	15	15
	2020	71	55	55	15	15	15	12	15	15	8	10	10	17	20	20	4	5	5	4	5	5
水泳（水球）	2012	71	60	70	16	20	30	19	30	40	4	10	10	20	30	45	6	15	15	6	15	15
	2020	71	55	55	15	15	15	12	15	15	8	10	10	17	20	20	4	5	5	4	5	5
水泳（マラソンスイミング）	2012	70	55	70	9	10	20	18	25	40	8	15	20	19	25	40	4	10	10	4	10	10
	2020	70	55	55	10	10	10	11	15	15	7	10	10	16	20	20	5	10	10	6	10	10
陸上競技	2012	81	75	95	24	35	60	6	10	15	10	25	35	—	—	—	15	35	45	15	35	50
	2020	80	65	65	22	25	25	5	5	5	7	10	10	—	—	—	13	15	15	13	15	15
バスケットボール	2012	64	50	55	15	15	20	15	20	30	8	15	15	16	20	35	8	20	25	8	20	25
	2020	64	45	45	15	15	15	10	10	10	6	10	10	17	20	20	6	10	10	5	5	5
バドミントン	2012	64	50	55	15	15	20	15	20	30	8	15	15	16	20	35	8	20	25	8	20	25
	2020	64	45	45	15	15	15	10	10	10	6	10	10	17	20	20	6	10	10	5	5	5
ボクシング	2012	84	80	105	27	40	70	9	15	25	22	40	70	10	20	30	19	40	60	19	40	60
	2020	84	70	70	27	30	30	9	15	15	21	25	25	10	15	15	19	25	25	20	25	25
カヌー（スプリント）	2012	72	60	65	23	25	30	22	30	40	16	25	25	24	30	45	15	35	35	15	35	35
	2020	72	55	55	23	25	25	18	20	20	14	15	15	26	30	30	14	15	15	14	15	15
カヌー（スラローム）	2012	60	45	45	19	20	25	18	25	35	12	15	20	19	25	35	12	25	25	12	25	25
	2020	60	45	45	19	15	15	14	15	15	10	10	10	21	25	25	10	10	10	9	10	10
自転車競技（トラック・レース）	2012	67	55	60	12	15	25	9	25	30	4	10	15	14	35	40	2	5	5	2	5	5
	2020	69	50	50	12	10	10	9	10	10	6	5	5	14	15	15	1	<5	<5	2	<5	<5
自転車競技（ロード・レース）スタート	2012	82	75	100	25	35	65	7	15	20	21	35	60	8	15	20	18	35	55	18	35	55
	2020	82	70	70	25	25	25	7	10	10	19	25	25	8	10	10	17	20	20	18	20	20
自転車競技（ロード・レース）ゴール	2012	99	95	130	42	55	90	24	35	45	29	50	65	19	25	35	35	55	85	35	55	85
	2020	99	85	85	42	45	45	25	25	25	27	30	30	20	20	20	34	40	40	35	40	40
自転車競技（マウンテンバイク）	2012	71	55	60	22	25	30	22	30	40	15	20	25	23	30	40	15	30	30	15	30	30
	2020	72	55	55	23	25	25	18	20	20	14	15	15	26	30	30	14	15	15	14	15	15
自転車競技（BMX）	2012	67	55	60	12	15	25	9	25	30	4	10	15	14	35	40	2	5	5	2	5	5
	2020	69	50	50	12	10	10	9	10	10	6	5	5	14	15	15	1	<5	<5	2	<5	<5
馬術（馬場馬術、障害馬術）	2012	64	50	55	15	15	20	15	20	30	8	15	15	16	20	35	8	20	25	8	20	25
	2020	64	45	45	15	15	15	10	10	10	6	10	10	17	20	20	6	10	10	5	5	5
馬術（クロスカントリー）	2012	73	60	65	24	30	35	24	30	45	17	25	25	25	30	45	15	30	35	15	30	35
	2020	73	55	55	24	25	25	19	20	20	15	15	15	26	30	30	15	15	15	15	15	15

D表(2)

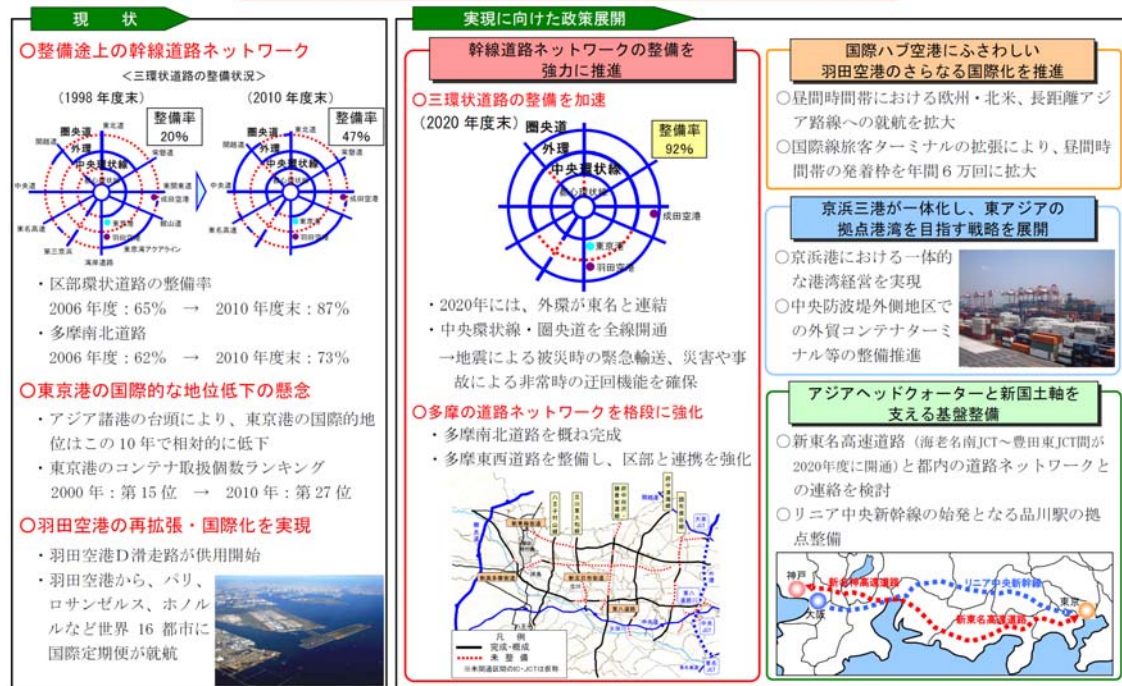
主要施設のアクセス時間

競技・施設名	年	成田国際空港			東京国際空港 (羽田)			主要ホテル地区			オリンピック選手 村			オリンピック ・スタジアム			メディア宿泊施設 (有明)			IBC/MPG		
		km	平均 時間	最大 時間	km	平均 時間	最大 時間	km	平均 時間	最大 時間	km	平均 時間	最大 時間	km	平均 時間	最大 時間	km	平均 時間	最大 時間	km	平均 時間	最大 時間
フェンシング	2012	86	50	60	12	15	25	10	25	30	5	10	15	15	35	40	<1	<5	<5	<1	<5	<5
	2020	89	50	50	12	10	10	9	10	10	6	5	5	14	15	15	<1	<5	<5	<1	<5	<5
	2020	80	65	65	22	25	25	5	5	5	7	10	10	—	—	—	15	35	45	15	35	50
サッカー(オリンピックスタジアム)	2012	81	75	95	24	35	60	6	10	15	10	25	35	—	—	—	15	35	45	15	35	50
	2020	80	65	65	22	25	25	5	5	5	7	10	10	—	—	—	13	15	15	13	15	15
	2020	99	95	130	42	55	90	24	35	45	29	50	65	19	25	35	35	55	85	35	55	85
サッカー(東京スタジアム)	2020	99	85	85	42	45	45	25	25	25	27	30	30	20	20	20	34	40	40	35	40	40
	2012	119	120	165	62	80	130	44	55	85	49	70	105	45	55	85	55	75	120	55	75	125
	2020	119	105	105	62	65	65	44	50	50	48	55	55	45	50	50	54	60	60	54	60	60
体操	2012	87	55	60	12	15	20	9	25	35	4	10	15	14	35	40	2	5	5	2	5	5
	2020	89	50	50	12	10	10	10	10	10	6	10	10	15	20	20	2	<5	<5	2	<5	<5
	2020	84	75	105	27	35	65	9	15	20	13	25	40	4	5	10	19	35	55	20	35	55
ハンドボール	2012	84	75	105	27	35	65	9	15	20	13	25	40	4	5	10	19	35	55	20	35	55
	2020	84	70	70	27	30	30	9	10	10	11	15	15	4	5	5	19	20	20	19	20	20
	2020	74	60	75	6	10	10	22	30	45	12	20	25	23	30	45	9	20	20	9	20	20
ホッケー	2020	75	55	55	8	10	10	16	15	15	12	10	10	20	25	25	10	10	10	10	10	10
	2012	79	70	90	22	30	55	4	5	10	17	30	50	5	5	10	14	25	45	14	25	45
	2020	79	65	65	22	20	20	4	5	5	16	20	20	4	5	5	14	15	15	14	15	15
柔道	2012	99	95	130	42	60	90	24	35	50	29	50	65	20	25	35	35	55	85	35	55	85
	2020	99	85	85	42	45	45	25	25	25	27	30	30	20	20	20	34	40	40	35	40	40
	2020	99	85	85	42	45	45	25	25	25	27	30	30	20	20	20	34	40	40	35	40	40
近代五種(フェンシング、水泳)	2012	72	60	65	23	25	30	22	30	40	16	25	25	24	30	45	16	30	35	16	30	35
	2020	72	55	55	23	25	25	18	20	20	14	15	15	26	30	30	14	15	15	14	15	15
	2020	81	75	95	24	35	60	6	10	15	10	25	35	—	—	—	15	35	45	15	35	50
ラグビー	2020	80	65	65	22	25	25	5	5	5	7	10	10	—	—	—	13	15	15	13	15	15
	2012	87	55	60	19	20	25	18	25	35	11	20	20	19	25	40	12	25	25	12	25	25
	2020	67	50	50	18	15	15	13	15	15	10	10	10	21	25	25	9	10	10	9	10	10
セーリング	2012	103	105	140	46	65	105	28	45	60	32	55	75	29	45	60	38	65	95	38	65	95
	2020	103	90	90	46	50	50	28	35	35	31	40	40	28	35	35	38	45	45	38	45	45
	2020	81	75	100	24	35	60	6	10	15	10	25	35	<1	<5	<5	15	40	50	15	40	50
卓球	2020	80	65	65	22	25	25	5	5	5	7	10	10	<1	<5	<5	13	15	15	13	15	15
	2012	86	50	60	12	15	25	10	25	30	5	10	15	15	35	40	<1	<5	<5	<1	<5	<5
	2020	69	50	50	12	10	10	9	10	10	6	5	5	14	15	15	<1	<5	<5	<1	<5	<5
テニス	2012	87	55	60	12	15	20	10	25	30	6	15	15	15	35	40	2	5	5	2	5	5
	2020	69	50	50	13	10	10	10	10	10	6	10	10	15	20	20	2	<5	<5	2	<5	<5
	2012	70	55	70	9	10	20	18	25	40	8	15	20	19	25	40	4	10	10	4	10	10
トライアスロン	2020	70	55	55	10	10	10	11	15	15	7	10	10	16	20	20	5	10	10	6	10	10
	2012	69	50	65	10	15	20	17	25	35	7	15	15	18	25	40	4	10	15	4	10	15
	2020	69	50	50	10	10	10	10	10	10	6	10	10	14	15	15	4	5	5	4	5	5
ビーチバレーボール	2012	67	55	60	12	15	25	9	25	30	4	10	15	14	35	40	2	5	5	2	5	5
	2020	69	50	50	12	10	10	9	10	10	6	5	5	14	15	15	1	<5	<5	2	<5	<5
	2020	82	75	100	25	35	65	7	15	15	21	35	60	8	15	20	18	30	55	18	30	55
ウエトリフティング	2020	82	65	65	25	25	25	7	10	10	19	25	25	8	10	10	17	20	20	17	20	20
	2012	66	50	60	12	15	25	10	25	30	5	10	15	15	35	40	<1	<5	<5	<1	<5	<5
	2020	69	50	50	12	10	10	9	10	10	6	5	5	14	15	15	<1	<5	<5	<1	<5	<5
レスリング	2012	66	50	60	12	15	25	10	25	30	5	10	15	15	35	40	<1	<5	<5	<1	<5	<5
	2020	69	50	50	12	10	10	9	10	10	6	5	5	14	15	15	<1	<5	<5	<1	<5	<5
	2020	69	50	50	12	10	10	9	10	10	6	5	5	14	15	15	<1	<5	<5	<1	<5	<5

○「2020 年の東京～大震災を乗り越え、日本の再生を牽引する～」
における陸海空交通ネットワーク強化プロジェクトの概要

陸海空交通ネットワーク強化プロジェクト

三環状道路の完成により、人とモノの流れを加速させる



出典：2020 年の東京～大震災を乗り越え、日本の再生を牽引する～、平成 23（2011）年 12 月、東京都

表 1-5-3

2020 年東京大会の立地の適地性の観点からの環境的価値

立地適地性の観点	環境的価値
③コンパクト化 (施設設置の最大コンパクト化)	選手村を中心とする半径 8 km 圏内に、ほぼすべての会場を配置しており、施設整備に関する影響（建設機械等の稼働、資材機材等の運搬等による自動車の走行による影響）や大会の運営に係る影響（人の集中等）、開催後の影響（仮設物等の撤去、跡地利用等）を広範囲に拡散させることはない。 また、大会期間中においては、選手や観客等の移動総距離が短縮されることにより、移動に伴う環境負荷を抑制することとなる。
④生活妨害の回避	本計画の施設立地計画の検討は、「①既存会場の最大利用に在る環境影響の回避」～「③コンパクト化」に示したとおり、既存の施設や交通インフラを活用するとともに、コンパクトな施設配置を前提として、大会全体としての施設建設に伴う環境負荷や大会開催時・大会後を通じて発生する環境負荷を抑制するよう配慮しているが、そのような配慮により、市民の生活環境の負荷も抑制することができ、生活妨害をできる限り最小化することとしている。 市民の生活の妨害は、広域的な環境負荷の増減の側面に加え、生活に密接に関わる空間での影響についても考慮する必要があるが、個別の施設や競技による影響についての評価結果によると（「5. 予測及び評価」参照）、生活妨害に関わる主要環境質（大気質、水質など）、生活環境（騒音、日影）の項目はいずれも現況と変わらないか現況より良くなる結果となると評価される。

